

# 県民のスポーツに関する実態調査報告書

---

大分県教育委員会

令和2(2020)年8月

---



## はじめに

大分県教育委員会では、平成 21 年 7 月に本県のスポーツ振興に関する方針となる「大分県スポーツ推進計画」を策定し、「健康・体力・人づくり」「活動の場づくり」「システムづくり」「基盤づくり」の 4 つのテーマのもと、様々なスポーツ推進のための施策を展開してまいりました。

平成 28 年 3 月には中間見直しを行いました。この改訂版の計画期間が本年度末で終了することから、この度、令和 3 年度から概ね 10 年間を計画期間とする「第 2 期大分県スポーツ推進計画」を策定することとなりました。

第 2 期計画の策定にあたり、県民の運動・スポーツ活動の現状などを明らかにするため、県内に居住する 10 歳代から 80 歳代までの男女 6,650 人を対象にアンケート調査を行いました。

本報告書では、平成 20 年及び 25 年に実施した調査結果との比較を行いながら、県民の運動・スポーツ活動の実施状況や意識等について考察を加えております。

関係の皆様におかれましては、本報告書をそれぞれの目的や必要性に応じて、さらに分析・検討され、御活用いただければと思います。

結びに、本調査に御協力いただきました関係各位、市町村関係者の方々に深く感謝の意を表します。

令和 2 年 8 月

大分県教育委員会教育長 工藤 利明



## 目 次

|   |    |
|---|----|
| <b>I 調査の目的</b>                                  | 1  |
| <b>II 調査概要</b>                                  | 1  |
| 1 調査方法  | 1  |
| 2 調査地域  | 1  |
| 3 調査対象  | 1  |
| 4 標本設定  | 1  |
| 5 調査項目  | 1  |
| 6 調査実施期間  | 2  |
| <b>III 調査企画および実施</b>                            | 2  |
| <b>IV 標本特性</b>                                  | 2  |
| <b>V 調査結果(成人調査報告)</b>                           | 3  |
| 1 基本的属性傾向                                       | 3  |
| 2 運動・スポーツ実施状況                                   | 4  |
| 1) 運動・スポーツ活動に対する好き嫌い                            | 4  |
| 2) 運動・スポーツ活動の実施状況                               | 5  |
| 3) 運動・スポーツ活動を阻害する要因                             | 8  |
| 4) 今後の運動・スポーツの実施意向                              | 9  |
| 3 運動・スポーツに対する各種意識                               | 10 |
| 1) 運動・スポーツに関する各種情報について                          | 10 |
| 2) 大分県のスポーツが盛んになることに対する意識                       | 11 |
| 3) 「みるスポーツ」に対する意識(ワールド・スポーツイベント、トップスポーツチームへの意識) | 12 |
| 4) 「支えるスポーツ」に対する意識                              | 15 |
| 5) 総合型地域スポーツクラブに対する意識                           | 18 |
| 4 日常生活の満足度と運動習慣の関連性                             | 22 |
| <b>VI 調査結果(児童・生徒調査)</b>                         | 24 |
| 1 基本的属性傾向                                       | 24 |
| 2 運動・スポーツに対する意識と活動実態                            | 24 |
| 1) 運動・スポーツに対する好き嫌い                              | 24 |
| 2) 運動・スポーツの実施状況                                 | 26 |
| 3) 「みるスポーツ」に対する意識(ワールド・スポーツイベント、トップスポーツへの意識)    | 27 |
| 4) 「支えるスポーツ」に対する意識                              | 31 |
| 5) 総合型地域スポーツクラブに対する意識(認知度と加入意向)                 | 32 |
| 3 学校の体育と放課後の活動                                  | 33 |
| 1) 体育授業に対する好き嫌い                                 | 33 |
| 2) 現在行っているスポーツ(活動)に対する意識                        | 34 |
| 3) 体力に対する評価                                     | 35 |
| 4 日常生活における各種意識                                  | 37 |
| 1) 朝食の摂取状況                                      | 37 |
| 2) 外遊びの状況                                       | 37 |
| 3) 朝食摂取・外遊びと体力の関連性                              | 38 |
| <b>VII 巻末資料(成人調査票と未成人調査票)</b>                   | 40 |





## I 調査の目的

県民各層の運動・スポーツに関する実施状況と意識（ニーズ）を把握し、令和3年度からを計画期間とする「第2期大分県スポーツ推進計画」の策定に向けた基礎資料とする。

## II 調査概要

- 1 調査方法 郵送法による質問紙調査法
- 2 調査地域 大分県全市町村
- 3 調査対象 県内に居住する年齢10歳以上の男女
- 4 標本設定
  - 1) サンプル 6,598人
  - 2) 抽出方法 県内全域を対象に住民基本台帳から確立比率2段階抽出法により無作為に抽出した。最終的な各市町村および各年齢層の抽出数は表1のとおりである。

表1 今回調査における各市町村および各年齢層の抽出数一覧

| 県計    | 1,130,938 | 人口比率  | 児童・生徒 |     |     | 年代別標本数(改) |     |     |     |     |     |     | 総標本数(改) |
|-------|-----------|-------|-------|-----|-----|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|
|       |           |       | 小学生   | 中学生 | 高校生 | 18~29歳    | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 |         |
| 大分市   | 477,247   | 0.422 | 164   | 112 | 120 | 280       | 280 | 280 | 280 | 280 | 280 | 280 | 2,356   |
| 別府市   | 117,658   | 0.104 | 48    | 39  | 40  | 80        | 80  | 80  | 80  | 80  | 80  | 80  | 687     |
| 中津市   | 82,917    | 0.073 | 33    | 28  | 40  | 58        | 58  | 58  | 58  | 58  | 58  | 58  | 507     |
| 日田市   | 62,654    | 0.055 | 22    | 35  | 40  | 44        | 44  | 44  | 44  | 44  | 44  | 44  | 405     |
| 佐伯市   | 67,589    | 0.060 | 26    | 31  | 40  | 50        | 50  | 50  | 50  | 50  | 50  | 50  | 447     |
| 臼杵市   | 36,422    | 0.032 | 13    | 28  | 40  | 26        | 26  | 26  | 26  | 26  | 26  | 26  | 263     |
| 津久見市  | 16,060    | 0.014 | 14    |     |     | 12        | 12  | 12  | 12  | 12  | 12  | 12  | 98      |
| 竹田市   | 20,222    | 0.018 | 7     | 7   | 40  | 14        | 14  | 14  | 14  | 14  | 14  | 14  | 152     |
| 豊後高田市 | 22,061    | 0.020 | 12    | 7   |     | 16        | 16  | 16  | 16  | 16  | 16  | 16  | 131     |
| 杵築市   | 28,288    | 0.025 | 10    | 24  | 40  | 20        | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 214     |
| 宇佐市   | 53,602    | 0.047 | 19    | 26  | 40  | 38        | 38  | 38  | 38  | 38  | 38  | 38  | 351     |
| 豊後大野市 | 33,644    | 0.030 | 13    | 12  |     | 24        | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 193     |
| 由布市   | 33,047    | 0.029 | 13    | 32  | 40  | 24        | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 24  | 253     |
| 国東市   | 26,362    | 0.023 | 11    | 19  |     | 20        | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 170     |
| 姫島村   | 1,774     | 0.002 | 4     |     |     | 6         | 6   | 6   | 6   | 6   | 6   | 6   | 46      |
| 日出町   | 27,966    | 0.025 | 29    | 22  |     | 20        | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 20  | 191     |
| 九重町   | 8,827     | 0.008 | 5     |     |     | 8         | 8   | 8   | 8   | 8   | 8   | 8   | 61      |
| 玖珠町   | 14,598    | 0.013 | 3     |     |     | 10        | 10  | 10  | 10  | 10  | 10  | 10  | 73      |
| 合計    | —         | 1     | 446   | 422 | 480 | 750       | 750 | 750 | 750 | 750 | 750 | 750 | 6,598   |

## 5 調査項目

調査は、18歳以上の一般県民を対象とした「成人調査」と小学生、中学生、高校生を対象とした「児童・生徒調査」の2種類を実施した。



1) 成人調査の内容

- ① 運動やスポーツに対する実施状況
- ② スポーツに対する各種意識
- ③ 日常生活に対する満足度等

2) 未成人調査の内容

- ① 運動やスポーツに対する各種意識
- ② 体育授業、運動部活動に対する各種意識
- ③ 運動・スポーツの実施状況
- ④ 日常生活意識

6 調査実施期間 令和2年5月30日～6月24日

Ⅲ 調査企画および実施

企 画 大分県教育庁体育保健課

実 施 九州地区地域スポーツ研究会（代表者 大分大学教育学部教授 谷口勇一）

Ⅳ 標本特性

回収された標本数は「成人調査」と「児童・生徒調査」をあわせて、3,195部（回収率48.4%）であったが、無回答標本等を削除した最終部数は3,192部となり、有効回収率48.4%となった。

「成人調査」「児童・生徒調査」の各有効回収数および率は表2、表3のとおりである。

表2 成人調査の標本回収状況

| 市町村名      | 対象者数 | 回収数  | 回収率  |
|-----------|------|------|------|
| 大 分 市     | 2016 | 696  | 34.5 |
| 別 府 市     | 560  | 181  | 32.3 |
| 中 津 市     | 350  | 151  | 43.1 |
| 日 田 市     | 322  | 114  | 35.4 |
| 佐 伯 市     | 350  | 112  | 32.0 |
| 臼 杵 市     | 182  | 62   | 34.1 |
| 津 久 見 市   | 98   | 25   | 25.5 |
| 竹 田 市     | 112  | 39   | 34.8 |
| 豊 後 高 田 市 | 98   | 41   | 41.8 |
| 杵 築 市     | 140  | 50   | 35.7 |
| 宇 佐 市     | 252  | 91   | 36.1 |
| 豊 後 大 野 市 | 168  | 55   | 32.7 |
| 由 布 市     | 154  | 72   | 46.8 |
| 国 東 市     | 140  | 46   | 32.9 |
| 姫 島 村     | 42   | 30   | 71.4 |
| 日 出 町     | 112  | 44   | 39.3 |
| 九 重 町     | 56   | 20   | 35.7 |
| 玖 珠 町     | 98   | 28   | 28.6 |
| 計         | 5250 | 1857 | 35.4 |

表3 児童・生徒調査の標本回収状況

| 市町村名                   | 対象者数 | 回収数  | 回収率   |
|------------------------|------|------|-------|
| 大 分 市                  | 396  | 416  | 105.1 |
| 臼 杵 市                  | 81   | 58   | 71.6  |
| 津 久 見 市                | 14   | 18   | 128.6 |
| 由 布 市                  | 85   | 75   | 88.2  |
| 別 府 市                  | 127  | 125  | 98.4  |
| 杵 築 市                  | 74   | 56   | 75.7  |
| 別 府 国 東 市              | 30   | 41   | 136.7 |
| 姫 島 村                  | 4    | 4    | 100.0 |
| 居住区<br>(教育事務所<br>管内区分) |      |      |       |
| 日 出 町                  | 51   | 66   | 129.4 |
| 中 津 市                  | 101  | 99   | 98.0  |
| 中 津 豊 後 高 田 市          | 19   | 23   | 121.1 |
| 宇 佐 市                  | 85   | 88   | 103.5 |
| 日 田 市                  | 97   | 84   | 86.6  |
| 日 田 九 重 町              | 5    | 6    | 120.0 |
| 玖 珠 町                  | 3    | 7    | 233.3 |
| 佐 伯 佐 伯 市              | 97   | 94   | 96.9  |
| 竹 田 市                  | 54   | 37   | 68.5  |
| 竹 田 豊 後 大 野 市          | 25   | 41   | 164.0 |
| 計                      | 1348 | 1338 | 99.3  |

なお、以降の調査結果報告は、「成人調査」、「児童・生徒調査」の順に分けて行うこととする。





## V 調査結果(成人調査報告)

### 1 基本的属性傾向

表 4 性別・年代別の構成

|    |        | n    | %     |
|----|--------|------|-------|
| 性別 | 男性     | 858  | 46.6  |
|    | 女性     | 984  | 53.4  |
|    | 計      | 1842 | 100.0 |
| 年齢 | 18-29歳 | 141  | 7.6   |
|    | 30歳代   | 214  | 11.5  |
|    | 40歳代   | 253  | 13.7  |
|    | 50歳代   | 285  | 15.4  |
|    | 60歳代   | 342  | 18.5  |
|    | 70歳代   | 362  | 19.5  |
|    | 80歳代   | 256  | 13.8  |
|    | 計      | 1853 | 100.0 |

表 5 現住所での居住年数

|           | n   | %    |
|-----------|-----|------|
| 1年未満      | 58  | 3.1  |
| 1～5年未満    | 153 | 8.3  |
| 5～10年未満   | 163 | 8.8  |
| 10～20年未満  | 234 | 12.7 |
| 20年以上     | 870 | 47.2 |
| 生まれてからずっと | 367 | 19.9 |

表 6 職業(複数回答)

|                      | n   | %    |
|----------------------|-----|------|
| 農林漁業                 | 88  | 4.8  |
| 会社・工場・公官庁に勤務         | 622 | 34.0 |
| 個人で商店, 工場, サービス業等を経営 | 92  | 5.0  |
| アルバイト・パート            | 213 | 12.0 |
| 専業主婦                 | 236 | 13.0 |
| 大学生                  | 14  | 0.8  |
| 無職                   | 468 | 25.0 |
| その他                  | 129 | 7.0  |

「成人調査」の分析対象者の基本的属性傾向を表 4～6 に示す。

性別、年代別の構成は県民人口構成とほぼ同様の傾向である。よって以降の各分析結果は、県民の意識と実態を反映するものと捉えることが可能である。

なお、以下の分析では、「性別」および「年代別」の傾向を中心に、適宜、2013 年の調査と比較しつつ報告していくこととする。



## 2 運動・スポーツの実施状況

### 1) 運動・スポーツ活動に対する好き・嫌い

まず、県民の「運動・スポーツ活動の実施に対する好き嫌い」の意識を訊ねた(図1)。

全体結果としては、「大変好きである」が19.6%、「どちらかといえば好きである」が47.4%であり、何らかの形態をもって運動・スポーツ活動を好意的に捉えている割合は、67.0%と高いことがわかった。

この傾向は、性別では「男性」において顕著であり、また年代別では「18～29歳」「80歳代」において高いことがわかる。

次に、県民の「運動・スポーツを観ること(観戦や視聴)に対する好き嫌い」の意識を訊ねた(図2)。

全体結果としては、「大変好きである」が30.0%、「どちらかといえば好きである」が44.2%であり、運動・スポーツ活動の観戦者視聴を好意的に捉えている割合は、74.2%と実施に対する意識よりも高いことがわかった。

この傾向は、性別では「男性」において顕著であり、また年代別では「70歳代」「80歳代」において高いことがわかった。

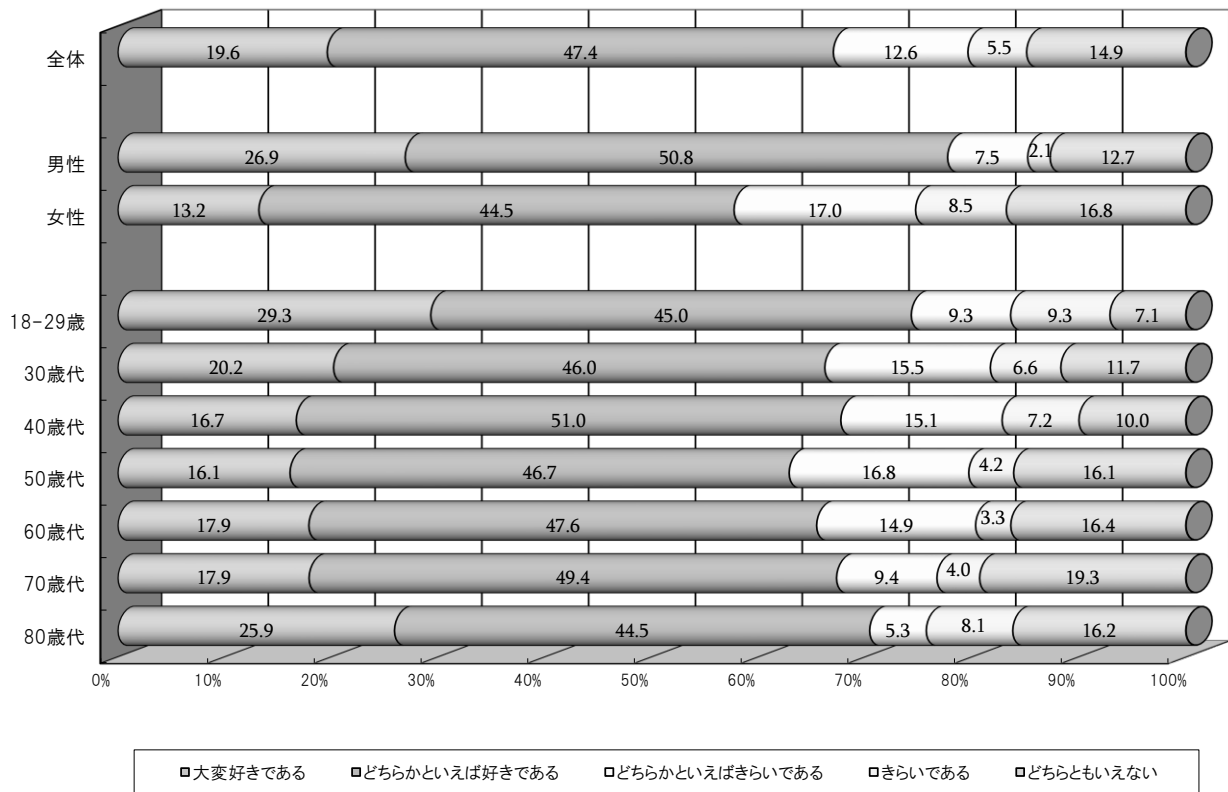


図1 運動・スポーツ活動の実施に対する好き嫌いの意識(%)

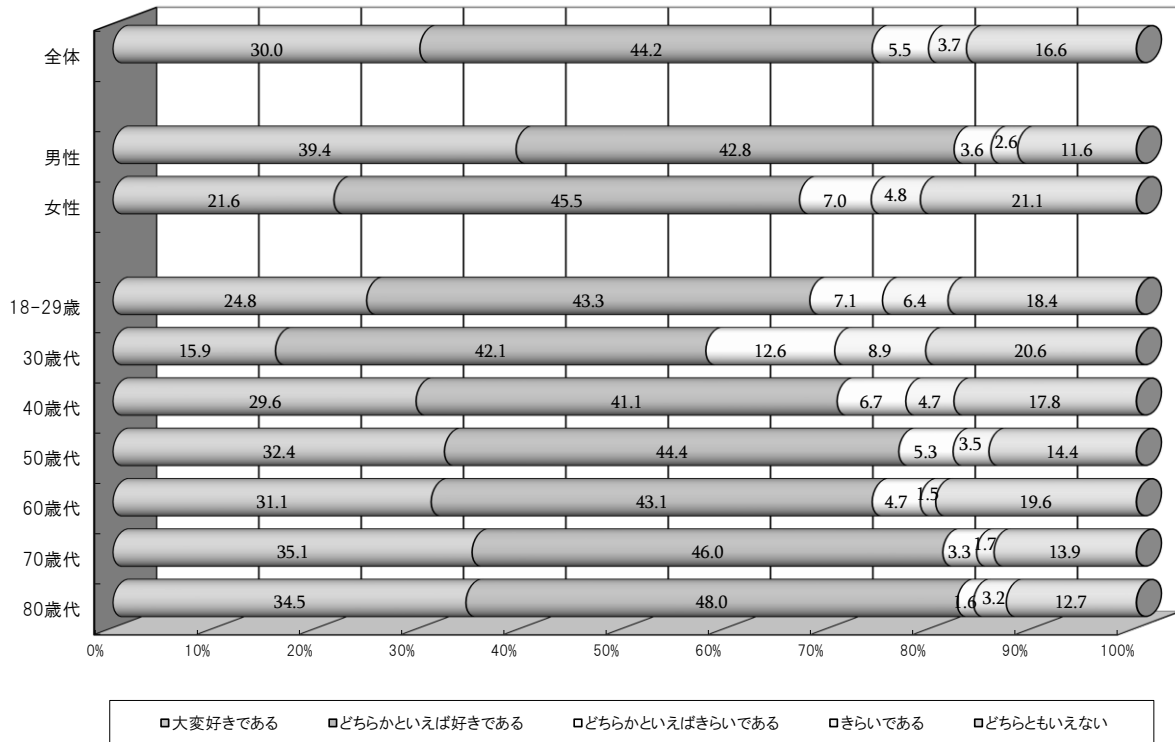


図2 運動・スポーツを観ること(観戦や視聴)に対する好き嫌いの意識(%)

## 2) 運動・スポーツ活動の実施状況

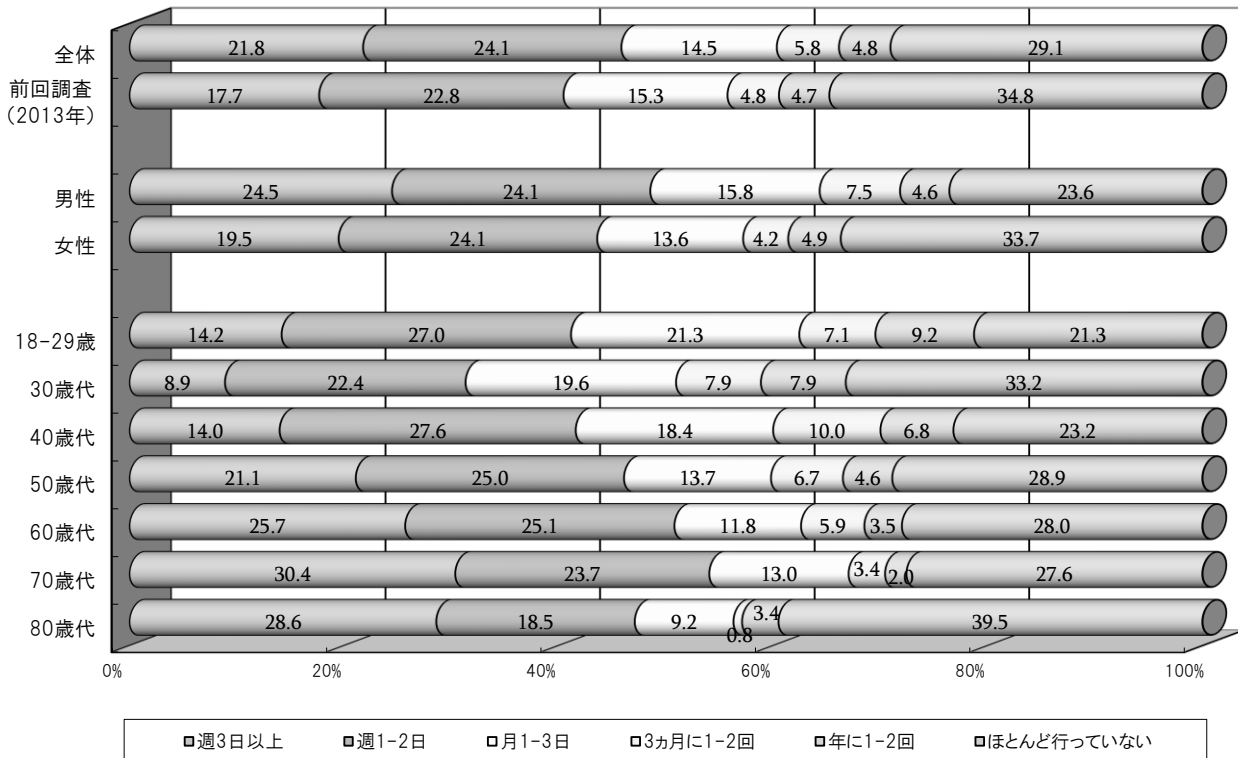


図3 運動・スポーツ活動の実施状況(%)



県民の「運動・スポーツ活動の実施状況」を訊ねたところ、全体結果では、「週3日以上」21.8%、「週1～2日」24.1%であった（図3）。

この2つの回答カテゴリーは、いわゆる「定期的な運動・スポーツ実践頻度」であり、本県では45.9%となった。この結果は、前回調査（2013年）の結果（40.5%）と比較して高くなっているが、国の目標とする数値（65%程度）に比べて低い状況にある。なお、令和2年2月にスポーツ庁が報告した「令和元年度 スポーツの実施状況等に関する世論調査」（以下、スポーツ庁調査）では、全国における20歳以上の「週1回以上」の運動・スポーツ実施率は、53.6%（前年度は55.1%のため減少傾向）であった。最新の全国動向と比較しても本県の数値は低い状況にはある。

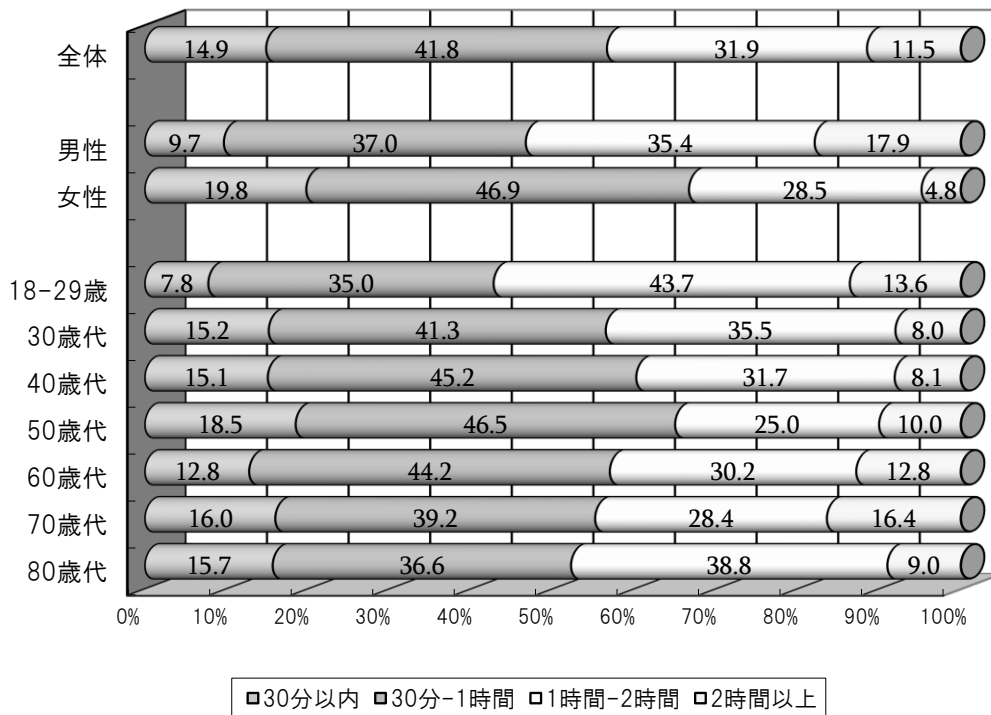


図4 【限定質問】運動・スポーツ活動時の平均的活動時間(%)

県民の運動・スポーツ活動時の平均的活動時間を訊ねたところ、全体結果では「30分～1時間」41.8%が最も高い数値であり、以下「1時間～2時間」31.9%、「30分以内」14.9%、「2時間以上」11.5%となった（図4）。

この結果を性別、年代別にみると、「女性」および「18～29歳」において、1回の運動・スポーツ実施時間は比較的短めである。

運動・スポーツ活動はどのような理由で行われているのか。図3で「ほとんど行っていない」以外のカテゴリーを選択した者に対する限定質問で訊ねた（表7）。

全体結果で高い数値を示した項目としては、「健康・体力づくりのため」81.8%、「楽しみや気晴らしのため」52.9%、「運動不足を感じるため」39.3%、「友人・仲間との交流のため」38.5%等であった（表7）。なお、スポーツ庁調査においても同一の質問が設定されており、そこでは、「健康のため」「体力増進・維持のため」「運動不足を感じるから」「楽しみ、気晴らしとして」等の項目が上位にあがっており、本県調査とほぼ符合する結果である。

また、前回調査（2013年）でも、「健康・体力づくりのため」は64.3%と最上位であり、県民にはそのことを理由とした運動・スポーツの実施がより高まった傾向にある。



表7 【限定質問】運動・スポーツを行っている理由（複数回答・％）

| 項目               | 全体   | 前回調査<br>(2013年) | 性別   |      | 年齢     |      |      |      |      |      |      |
|------------------|------|-----------------|------|------|--------|------|------|------|------|------|------|
|                  |      |                 | 男性   | 女性   | 18-29歳 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 |
| 健康・体力づくりのため      | 81.8 | 64.3            | 80.8 | 82.7 | 73.1   | 72.1 | 75.5 | 85.1 | 86.7 | 88.4 | 80.7 |
| 楽しみや気晴らしのため      | 52.9 | 42.0            | 54.5 | 51.3 | 69.4   | 56.4 | 56.9 | 52.7 | 52.9 | 48.6 | 39.3 |
| 運動不足を感じるため       | 39.3 | 39.8            | 34.1 | 44.5 | 36.1   | 37.1 | 39.9 | 44.3 | 41.7 | 41.4 | 27.9 |
| 友人・仲間との交流のため     | 38.5 | 36.4            | 44.1 | 33.0 | 41.7   | 36.4 | 27.7 | 31.3 | 36.7 | 44.2 | 56.4 |
| 美容や肥満解消のため       | 24.1 | 20.1            | 14.9 | 33.3 | 33.3   | 34.3 | 36.2 | 32.8 | 20.0 | 13.5 | 3.6  |
| 自然とふれあうため        | 18.6 | 13.8            | 20.3 | 17.0 | 13.0   | 19.3 | 13.3 | 14.4 | 20.4 | 23.1 | 23.6 |
| 家族とのふれあいのため      | 12.8 | 7.5             | 10.5 | 15.1 | 10.2   | 27.1 | 26.6 | 11.9 | 7.9  | 6.4  | 2.1  |
| 自己の記録や能力を向上させるため | 9.9  | 6.5             | 13.2 | 6.7  | 15.7   | 10.7 | 9.0  | 10.0 | 9.2  | 7.2  | 12.1 |
| 精神修養や訓練のため       | 6.8  | 4.2             | 8.4  | 5.2  | 7.4    | 9.3  | 9.6  | 6.0  | 4.2  | 5.6  | 8.6  |
| その他              | 2.4  | 1.9             | 2.4  | 2.4  | 1.9    | 1.4  | 1.6  | 4.5  | 2.9  | 2.0  | 1.4  |

今回調査では、さらに運動・スポーツ活動実施者を対象として、この1年間に行った運動・スポーツ種目を複数回答で訊ねている（表8）。

表8 【限定質問】実施している運動・スポーツ種目（複数回答・％）

|                 | 上位種目(下段は%)               |                     |                       |                       |                       |
|-----------------|--------------------------|---------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
|                 | 1位                       | 2位                  | 3位                    | 4位                    | 5位                    |
| 全体              | ウォーキング<br>62.5           | 体操(ラジオ体操)<br>23.8   | その他<br>15.1           | ジョギング・ランニング<br>14.9   | 自転車(サイクリング含む)<br>13.8 |
| 前回調査<br>(2013年) | ウォーキング<br>47.8           | 体操(ラジオ体操)<br>23.3   | 自転車(サイクリング含む)<br>12.8 | ジョギング・ランニング<br>12.7   | ボウリング<br>11.3         |
| 性別              | 男性<br>ウォーキング<br>58.3     | ゴルフ<br>20.6         | ジョギング・ランニング<br>19.8   | 釣り<br>18.4            | 体操(ラジオ体操)<br>17.3     |
| 女性              | ウォーキング<br>66.4           | 体操(ラジオ体操)<br>30.3   | その他<br>18.5           | 自転車(サイクリング含む)<br>13.4 | なわとび<br>12.1          |
| 年齢              | 18-29歳<br>ウォーキング<br>54.2 | ジョギング・ランニング<br>32.1 | 自転車(サイクリング含む)<br>25.2 | なわとび<br>16.0          | バレーボール<br>16.0        |
| 30歳代            | ウォーキング<br>51.0           | ジョギング・ランニング<br>24.5 | なわとび<br>22.9          | 体操(ラジオ体操)<br>20.8     | 自転車(サイクリング含む)<br>16.7 |
| 40歳代            | ウォーキング<br>66.1           | 体操(ラジオ体操)<br>23.5   | ジョギング・ランニング<br>21.3   | なわとび<br>20.4          | 自転車(サイクリング含む)<br>20.0 |
| 50歳代            | ウォーキング<br>66.0           | 体操(ラジオ体操)<br>28.9   | ジョギング・ランニング<br>16.6   | その他<br>16.6           | 自転車(サイクリング含む)<br>14.6 |
| 60歳代            | ウォーキング<br>67.9           | 体操(ラジオ体操)<br>22.3   | その他<br>16.1           | 自転車(サイクリング含む)<br>12.5 | ゴルフ<br>12.5           |
| 70歳代            | ウォーキング<br>64.9           | 体操(ラジオ体操)<br>27.4   | その他<br>18.0           | グラウンドゴルフ<br>14.0      | ゴルフ<br>13.7           |
| 80歳代            | ウォーキング<br>57.8           | 体操(ラジオ体操)<br>23.5   | グラウンドゴルフ<br>22.1      | その他<br>15.7           | ゴルフ<br>10.3           |

全体結果で上位となった種目は、「ウォーキング」62.5%、「体操（ラジオ体操）」23.8%、「その他」15.1%、「ジョギング・ランニング」14.9%、「自転車（サイクリング含む）」13.8%であった。

これと同様の設問がスポーツ庁調査でもなされており、結果としては、「ウォーキング」「ランニング」「階段昇降」「トレーニング」「体操」が上位種目となっている。

また、前回調査（2013年）と比較しても大きな変化はなく、「70歳代」「80歳代」において、「グラウンドゴルフ」が盛んに行われていることも確認できる。



### 3) 運動・スポーツ活動を阻害する要因

図3において、本県民の運動・スポーツ実施状況は全国平均と比較したとき、若干ながら低い状況であることを確認した。では、県民が運動・スポーツを行おうとする際、いかなる障害や阻害要素が存在しているのだろうか。

表9 運動・スポーツを行う際に困っていること、妨げになっていること（複数回答・%）

| 項目                   | 全体   | 前回調査<br>(2013年) | 性別   |      | 年齢     |      |      |      |      |      |      |
|----------------------|------|-----------------|------|------|--------|------|------|------|------|------|------|
|                      |      |                 | 男性   | 女性   | 18-29歳 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 |
| 年をとっている              | 26.2 | 27.3            | 28.4 | 23.9 | 0.0    | 2.4  | 5.0  | 12.5 | 23.5 | 52.5 | 75.1 |
| 身近に施設がない             | 17.8 | 19.3            | 17.3 | 18.2 | 23.0   | 19.8 | 22.3 | 22.3 | 17.3 | 13.9 | 8.0  |
| 施設を利用するのにお金がかかる      | 17.0 | 15.1            | 15.8 | 18.1 | 23.7   | 25.6 | 21.9 | 18.5 | 16.3 | 11.5 | 5.6  |
| 勤務時間が長い              | 16.7 | 14.9            | 20.0 | 13.9 | 29.5   | 30.0 | 31.4 | 24.2 | 7.8  | 4.1  | 0.0  |
| 家事が忙しい               | 16.7 | 15.2            | 7.5  | 24.8 | 15.8   | 32.4 | 25.6 | 19.2 | 12.7 | 8.5  | 6.6  |
| 一緒に行く仲間がいない          | 15.6 | 15.3            | 16.1 | 15.3 | 29.5   | 19.8 | 17.4 | 15.1 | 13.4 | 11.5 | 9.9  |
| スポーツクラブの会費(入会金等)が高い  | 15.2 | 13.7            | 11.3 | 18.8 | 19.4   | 19.3 | 24.8 | 21.5 | 11.1 | 10.2 | 2.8  |
| 運動すると疲れる             | 12.9 | 9.6             | 9.9  | 15.4 | 18.0   | 17.4 | 18.2 | 10.6 | 10.1 | 10.8 | 8.5  |
| その他                  | 12.3 | 8.9             | 11.8 | 12.8 | 8.6    | 7.7  | 7.4  | 11.3 | 17.6 | 14.9 | 14.6 |
| 子どもがいる(育児に忙しい)       | 11.8 | 10.4            | 7.7  | 15.3 | 18.0   | 45.4 | 26.4 | 4.5  | 0.7  | 0.0  | 0.0  |
| 下手である(運動技術が劣っている)    | 10.9 | 10.1            | 7.1  | 14.4 | 14.4   | 10.1 | 14.0 | 11.7 | 9.1  | 12.9 | 5.2  |
| 休暇がない                | 10.8 | 12.3            | 13.2 | 8.9  | 18.7   | 15.9 | 17.4 | 16.6 | 7.8  | 3.4  | 0.9  |
| 運動・スポーツをするのが面倒である    | 10.8 | 7.5             | 7.6  | 13.5 | 16.5   | 15.5 | 12.0 | 14.0 | 11.4 | 5.4  | 3.3  |
| 用具にお金がかかる            | 10.1 | 10.3            | 13.5 | 7.3  | 20.9   | 16.4 | 12.0 | 10.2 | 8.1  | 6.8  | 2.3  |
| 他の趣味が忙しい             | 8.8  | 10.2            | 9.8  | 7.9  | 12.9   | 10.6 | 7.9  | 7.5  | 8.1  | 9.8  | 6.1  |
| 世話を必要とする人がいる         | 7.4  | 6.9             | 3.9  | 10.5 | 0.7    | 5.8  | 4.5  | 14.0 | 12.1 | 4.7  | 5.6  |
| 運動・スポーツに関する情報が不足している | 7.0  | 8.0             | 6.3  | 7.7  | 7.9    | 7.2  | 9.5  | 6.8  | 7.8  | 7.1  | 1.9  |
| 通勤時間が長い              | 4.8  | 3.2             | 4.8  | 4.7  | 11.5   | 10.1 | 8.3  | 4.5  | 2.3  | 1.4  | 0.0  |
| 指導者がいない              | 3.5  | 3.1             | 3.3  | 3.6  | 2.9    | 2.4  | 5.8  | 3.4  | 3.9  | 2.4  | 3.3  |

※複数回答であるため、全体結果をもとに降順並び替え処理を実施している。

表9に結果を示す。

上位の項目としては、「年をとっている」26.2%、「身近に施設がない」17.8%、「施設を利用するのにお金がかかる」17.0%、「勤務時間が長い」16.7%等があがっている。これは前回調査（2013年）にも同様に上位項目であり、恒常的な課題として認識できる。

この質問内容とほぼ同一の設問がスポーツ庁調査でも実施されている。結果としては、「仕事や家事が忙しい」「面倒くさいから」「年をとったから」「お金に余裕がないから」等の項目が上位となっている。

本県調査において、「年をとっている」が連続的に最上位にあがっていることは、高齢化の状況を反映したものと捉えることができよう。しかし、全国調査で2番目にあがる「面倒である」については、本県では比較的低位（「運動・スポーツをするのが面倒である」と設定、10.8%）であることから、県民の潜在的な運動・スポーツに対する実施意向は、決して低いものではないと捉えられよう。



#### 4) 今後の運動・スポーツの実施意向

県民の定期的な運動・スポーツ実施率は、全国平均と比較すると若干低い結果であったが、「今後の運動・スポーツ活動の実施意向」について訊ねた(図5)。

全体結果としては、「週3日以上」27.0%、「週1~2日」37.0%となり、これらの数値を合わせた64.0%の者が「定期的な運動実践」を意向していることがわかった。前回調査(2013年)の結果(「週3日以上」28.4%、「週1~2日」42.2%)と比較すると県民の運動・スポーツ活動に対する意識はやや低下している。

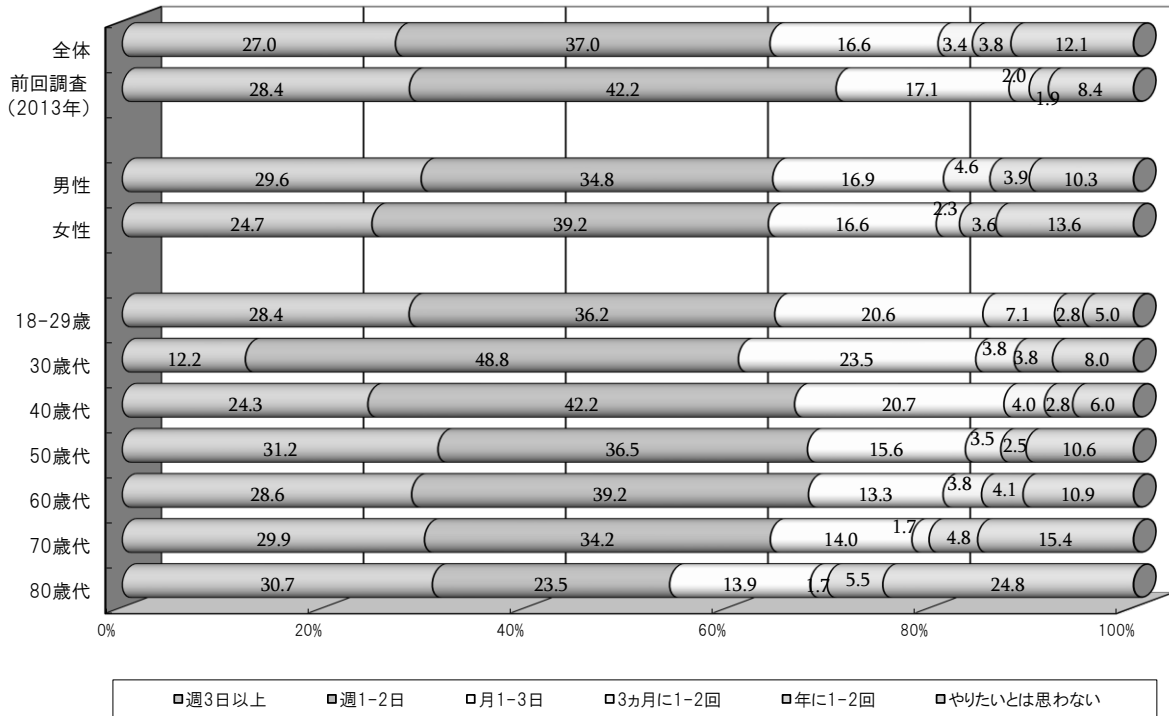


図5 今後の運動・スポーツの実施意向 (%)

また、県民が今後行なってみたいと考えている運動・スポーツ種目を複数回答で訊ねた(表10)。

全体結果では、表8でみた「現在実施している運動・スポーツ種目」と同様に、「ウォーキング」54.2%が第1位であった。以下、「体操(ラジオ体操)」15.3%、「ジョギング・ランニング」14.3%、「登山」14.0%、「自転車(サイクリング含む)」13.8%である。年代別の傾向では、「18~29歳」「30歳代」「40歳代」の上位に「キャンプ(野外活動)」があがっていること、「70歳代」「80歳代」で「グラウンドゴルフ」が上位になっていること等が注目すべき点となろう。



表 10 今後行いたい運動・スポーツ種目（複数回答・%）

|                 | 上位種目(下段は%)     |   |                       |                     |                                  |
|-----------------|----------------|---|-----------------------|---------------------|----------------------------------|
|                 | 1位             | 2位  | 3位                    | 4位                  | 5位                               |
| 全体              | ウォーキング<br>54.2 | 体操(ラジオ体操)<br>15.3                               | ジョギング・ランニング<br>14.3   | 登山<br>14.0          | 自転車(サイクリング含む)<br>13.8            |
| 前回調査<br>(2013年) | ウォーキング<br>43.3 | 体操(ラジオ体操)<br>17.0                               | 水泳<br>15.0            | 釣り<br>12.4          | 自転車(サイクリング含む)<br>12.3            |
| 性別              | 男性<br>48.0     | 釣り<br>21.2                                      | ゴルフ<br>20.8           | ジョギング・ランニング<br>18.4 | 自転車(サイクリング含む)<br>16.6            |
|                 | 女性<br>59.7     | 体操(ラジオ体操)<br>21.6                               | 水泳<br>15.3            | バドミントン<br>12.9      | ダンス<br>11.9                      |
| 18-29歳          | ウォーキング<br>34.6 | 水泳<br>23.5                                      | バドミントン<br>22.8        | キャンプ(野外活動)<br>19.1  | ジョギング・ランニング、バレーボール、ボウリング<br>18.4 |
| 30歳代            | ウォーキング<br>39.5 | ジョギング・ランニング<br>27.0                             | キャンプ(野外活動)<br>24.5    | 水泳<br>23.5          | 登山<br>18.0                       |
| 40歳代            | ウォーキング<br>47.1 | キャンプ(野外活動)、自転車(サイクリング含む)、ジョギング・ランニング、水泳<br>18.8 |                       |                     |                                  |
| 50歳代            | ウォーキング<br>56.1 | ジョギング・ランニング<br>20.5                             | 登山<br>18.6            | キャンプ(野外活動)<br>16.7  | 自転車(サイクリング含む)<br>15.5            |
| 60歳代            | ウォーキング<br>61.2 | 体操(ラジオ体操)<br>17.6                               | 自転車(サイクリング含む)<br>16.7 | 釣り<br>15.7          | 登山<br>14.7                       |
| 70歳代            | ウォーキング<br>65.1 | 体操(ラジオ体操)<br>26.7                               | グラウンドゴルフ<br>18.7      | ゴルフ<br>15.6         | 釣り<br>15.6                       |
| 80歳代            | ウォーキング<br>58.7 | グラウンドゴルフ<br>20.9                                | 体操(ラジオ体操)<br>17.9     | その他<br>12.8         | ゴルフ<br>9.7                       |

### 3 運動・スポーツに対する各種意識

#### 1) 運動・スポーツに関する各種情報について

県民は、運動・スポーツに関する情報として、具体的にはどのような事柄を期待しているのかを把握する目的から質問項目を設定した。

表 11 県民が期待している運動・スポーツに関する情報（複数回答・%）

| 項目                      | 全体   | 前回調査<br>(2013年) | 性別   |      | 年齢     |      |      |      |      |      |      |  |
|-------------------------|------|-----------------|------|------|--------|------|------|------|------|------|------|--|
|                         |      |                 | 男性   | 女性   | 18-29歳 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 |  |
| 健康・体力づくりなどの情報           | 50.6 | 47.0            | 46.4 | 54.4 | 28.9   | 30.8 | 35.8 | 55.0 | 57.8 | 65.7 | 65.7 |  |
| 新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報 | 28.3 | 26.0            | 21.7 | 33.8 | 31.1   | 30.3 | 33.6 | 30.6 | 29.6 | 24.8 | 16.9 |  |
| 各種スポーツ教室の案内             | 21.9 | 20.6            | 15.7 | 27.2 | 20.7   | 25.8 | 36.2 | 24.8 | 21.8 | 15.7 | 4.8  |  |
| スポーツ行事・イベントの情報          | 21.6 | 19.6            | 24.9 | 18.9 | 24.4   | 26.8 | 27.2 | 20.5 | 23.1 | 14.7 | 16.9 |  |
| スポーツ施設の案内               | 21.4 | 21.6            | 22.7 | 20.5 | 31.9   | 26.3 | 35.8 | 27.1 | 18.0 | 9.1  | 6.0  |  |
| 参加できるスポーツ競技会の情報         | 16.5 | 15.0            | 20.9 | 12.5 | 19.3   | 17.7 | 13.4 | 19.8 | 17.3 | 14.7 | 13.3 |  |
| スポーツに関する医学的・科学的な情報      | 13.3 | 14.0            | 14.0 | 12.4 | 14.8   | 11.6 | 10.8 | 17.8 | 13.9 | 13.6 | 9.0  |  |
| クラブ同好会などの活動案内           | 11.2 | 13.2            | 12.7 | 10.0 | 15.6   | 12.1 | 9.9  | 11.2 | 14.3 | 8.4  | 7.8  |  |
| その他                     | 5.3  | 4.1             | 6.6  | 4.2  | 5.9    | 4.5  | 3.0  | 5.0  | 4.1  | 5.9  | 10.2 |  |
| 各種スポーツ指導者の紹介            | 3.9  | 5.1             | 3.3  | 4.2  | 4.4    | 4.5  | 6.0  | 5.0  | 2.7  | 3.5  | 1.2  |  |

※複数回答であるため、全体結果をもとに降順並び替え処理を実施している。

複数回答で訊ねた結果、上位には「健康・体力づくりなどの情報」50.6%、「新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報」28.3%、「各種スポーツ教室の案内」21.9%があがっている(表11)。

これらは、前回調査(2013年)の上位項目でもあることから、約7年を経過した後の県民意識もほぼ同様のものであるといえる。





表 12 運動・スポーツ情報の入手方法（複数回答・%）

|                 |        | 1位項目                    | 2位項目    |
|-----------------|--------|-------------------------|---------|
| 全 体             |        | 知人や友人から                 | 市町村の広報  |
|                 | %      | 37.3                    | 35.9    |
| 前回調査<br>(2013年) |        | 市町村の広報                  | 知人や友人から |
|                 |        | 37.5                    | 36.1    |
| 性 別             | 男性     | 知人や友人から                 | 新聞・雑誌   |
|                 | %      | 35.8                    | 31.2    |
|                 | 女性     | 市町村の広報                  | 知人や友人から |
|                 | %      | 42.7                    | 38.6    |
| 年 齢             | 18-29歳 | SNS(Twitter, Facebook等) | 知人や友人から |
|                 | %      | 46.4                    | 43.5    |
|                 | 30歳代   | インターネット                 | 知人や友人から |
|                 | %      | 47.5                    | 34.2    |
|                 | 40歳代   | インターネット                 | 知人や友人から |
|                 | %      | 46.2                    | 40.3    |
|                 | 50歳代   | 知人や友人から                 | 市町村の広報  |
|                 | %      | 36.2                    | 35.5    |
|                 | 60歳代   | 市町村の広報                  | 知人や友人から |
|                 | %      | 44.0                    | 38.7    |
|                 | 70歳代   | 市町村の広報                  | 知人や友人から |
|                 | %      | 45.0                    | 40.5    |
| 80歳代            | 新聞・雑誌  | 市町村の広報                  |         |
| %               | 38.7   | 36.8                    |         |

では、県民は運動・スポーツの情報をどのような手段で入手しているのか。主な入手方法を複数回答で訊ねた。

全体結果としては、第1位「知人や友人から」37.3%、第2位「市町村の広報」35.9%となった（表12）。前回調査（2013年）の上位2項目と順位は入れ替わるがほぼ同様の結果となった。これらの情報入手方法は、年代別に異なる傾向を示している。「18～29歳代」は「SNS（Twitter, Facebook）」、「30歳代」「40歳代」は「インターネット」など、インターネットを介した情報入手が顕著である。一方、「50歳代」以上の年代層では、「知人や友人から」、「市町村の広報」が主要なツールである。県民（住民）に対する運動・スポーツ情報の発信にあたっては、年代を考慮した「使い分け」が今後は一層効果的であろう。

## 2) 大分県のスポーツが盛んになることに対する意識

県民は、大分県のスポーツが盛んになることに対してどのような意識を持っているのかを把握する目的から、13項目にわたる関連項目を設定し、それぞれに対する重要性の程度を「4 大変重要だと思う」から「1 まったく重要とは思わない」の4段階で回答を求めた。

以下では、それらの回答数値の平均値を算出し、高い順に並び替えた結果を示す（表13）。

重要性の程度を強く感じていることとなる平均値の高い項目をみると、「地域で身近に利用できるスポーツ施設の整備」3.36、「学校の運動部活動の充実」（中学校3.13、高等学校3.12）、「気軽にスポーツが行える地域のスポーツクラブづくり」3.11等が上位にあがっている。

これらの項目は、前回調査（2013年）であがっていた上位項目とほぼ同様のものである。

表 13 県民が抱く「大分県のスポーツが盛んになるための事柄」（「4 大変重要だと思う」～「1 まったく重要と思わない」の平均値）

| 項 目                      | 全 体  | 前回調査<br>(2013年) | 性 別  |      | 年 齢    |      |      |      |      |      |      |  |
|--------------------------|------|-----------------|------|------|--------|------|------|------|------|------|------|--|
|                          |      |                 | 男性   | 女性   | 18-29歳 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 |  |
| 地域で身近に利用できるスポーツ施設の整備     | 3.36 | 3.33            | 3.37 | 3.35 | 3.58   | 3.40 | 3.40 | 3.42 | 3.25 | 3.27 | 3.34 |  |
| 中学校の運動部活動の充実             | 3.13 | 3.07            | 3.14 | 3.11 | 3.21   | 3.07 | 3.12 | 3.09 | 3.10 | 3.18 | 3.20 |  |
| 高等学校の運動部活動の充実            | 3.12 | 3.01            | 3.13 | 3.10 | 3.24   | 3.03 | 3.08 | 3.09 | 3.11 | 3.15 | 3.19 |  |
| 気軽にスポーツが行える地域のスポーツクラブづくり | 3.11 | 3.07            | 3.06 | 3.16 | 3.30   | 3.19 | 3.13 | 3.16 | 3.03 | 3.05 | 2.99 |  |
| 学校の先生以外の指導者が運動部活動の指導にあたる | 3.05 | 2.68            | 3.01 | 3.08 | 3.03   | 3.11 | 3.06 | 3.13 | 2.98 | 3.03 | 3.00 |  |
| スポーツ情報の提供                | 2.97 | 2.91            | 2.95 | 2.99 | 3.06   | 2.98 | 3.02 | 3.00 | 2.94 | 2.91 | 2.90 |  |
| 競技力向上のため、優れた指導者の養成や選手育成  | 2.93 | 2.91            | 2.91 | 2.95 | 2.96   | 2.85 | 2.93 | 2.98 | 2.90 | 2.95 | 3.01 |  |
| 地域にスポーツのリーダーや指導者の配置      | 2.91 | 2.84            | 2.87 | 2.95 | 2.81   | 2.80 | 2.92 | 2.96 | 2.89 | 3.01 | 2.97 |  |
| 小学校への体育専門教師の配置           | 2.89 | 2.75            | 2.85 | 2.92 | 2.79   | 2.86 | 2.86 | 2.96 | 2.86 | 2.95 | 2.87 |  |
| 健康に関する教室や講演会の開催          | 2.88 | 2.93            | 2.83 | 2.92 | 2.72   | 2.56 | 2.79 | 2.96 | 2.94 | 3.06 | 3.08 |  |
| プロスポーツに対する経済的支援          | 2.72 | 2.47            | 2.63 | 2.79 | 2.85   | 2.77 | 2.77 | 2.78 | 2.66 | 2.57 | 2.68 |  |
| 国際的なスポーツイベントの積極的誘致       | 2.71 | 2.46            | 2.69 | 2.73 | 2.75   | 2.70 | 2.83 | 2.82 | 2.58 | 2.61 | 2.74 |  |
| 国民体育大会での総合成績の向上          | 2.63 | 2.40            | 2.57 | 2.68 | 2.70   | 2.49 | 2.59 | 2.61 | 2.58 | 2.72 | 2.86 |  |

※複数回答であるため、全体結果をもとに降順並び替え処理を実施している。前回調査(2013年)からは該当項目を抜粋した。



表 14 大分県の競技力向上にむけた条件整備とは(複数回答・%)

| 項目                    | 全体   | 前回調査<br>(2013年) | 性別   |      | 年齢     |      |      |      |      |      |      |
|-----------------------|------|-----------------|------|------|--------|------|------|------|------|------|------|
|                       |      |                 | 男性   | 女性   | 18-29歳 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 |
| 充実したスポーツ施設の整備         | 57.9 | 49.9            | 57.3 | 58.2 | 77.0   | 61.5 | 60.2 | 64.7 | 55.7 | 43.3 | 53.0 |
| 優秀な指導者の育成             | 49.5 | 48.9            | 52.0 | 47.1 | 39.6   | 43.5 | 45.9 | 47.5 | 49.2 | 55.0 | 62.7 |
| 選手への財政的な支援活動          | 45.0 | 37.7            | 44.9 | 45.1 | 38.8   | 52.0 | 45.5 | 54.0 | 45.9 | 40.1 | 34.6 |
| ジュニア期(子ども期)からの一貫指導体制  | 43.6 | 44.7            | 45.0 | 42.1 | 32.4   | 47.0 | 43.9 | 43.5 | 44.9 | 47.2 | 40.5 |
| スポーツの医学的研究施設の充実       | 19.8 | 18.2            | 20.5 | 19.0 | 23.0   | 18.0 | 25.6 | 20.9 | 19.7 | 15.3 | 17.8 |
| トップアスリートを育成するプログラムの開発 | 19.2 | 14.4            | 19.7 | 18.7 | 20.9   | 29.0 | 30.9 | 21.6 | 14.1 | 10.7 | 11.4 |
| その他                   | 2.9  | 2.3             | 2.5  | 3.2  | 1.4    | 3.0  | 3.7  | 3.2  | 3.0  | 2.3  | 3.2  |

※複数回答であるため、全体結果をもとに降順並び替え処理を実施している。

さらに、「大分県の競技力向上のためには、どのような環境(施設やシステム等)を整えることが必要だと思いますか」との質問を設定し、その意識を訊ねた(表14)。

複数回答の結果、上位項目としては、「充実したスポーツ環境の整備」57.9%、「優秀な指導者の育成」49.5%、「選手への財政的な支援活動」45.0%、「ジュニア期(子ども期)からの一貫指導体制」43.6%であった。

表13、表14や前回調査(2013)結果に鑑みると、本県民においては、さらなる施設の整備に対する重要性の高まりがみられ、また、人的プログラム(ソフト面)の重要性も強く抱かれていることがわかった。

### 3)「みるスポーツ」に対する意識(ワールド・スポーツイベント、トップスポーツチームへの意識)

2019年に本県でも5試合が開催された「ラグビーワールドカップ」、そして2021年に延期された「東京オリンピック・パラリンピック」の開催に対する県民の意識を訊ねた(図6、図7)。

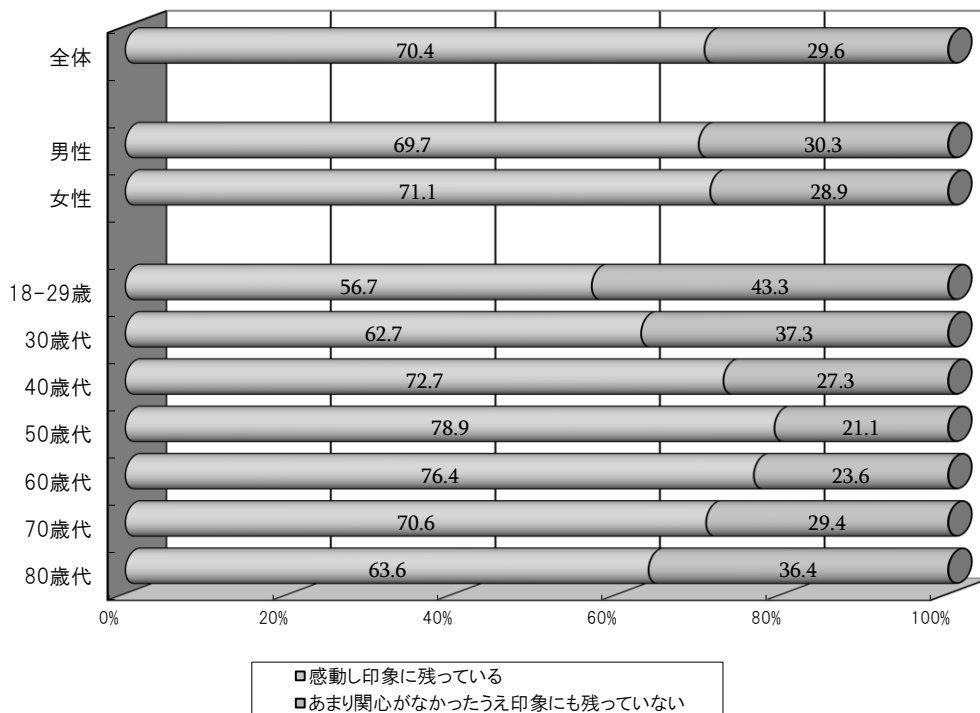


図 6 ラグビーワールドカップ開催の感想 (%)

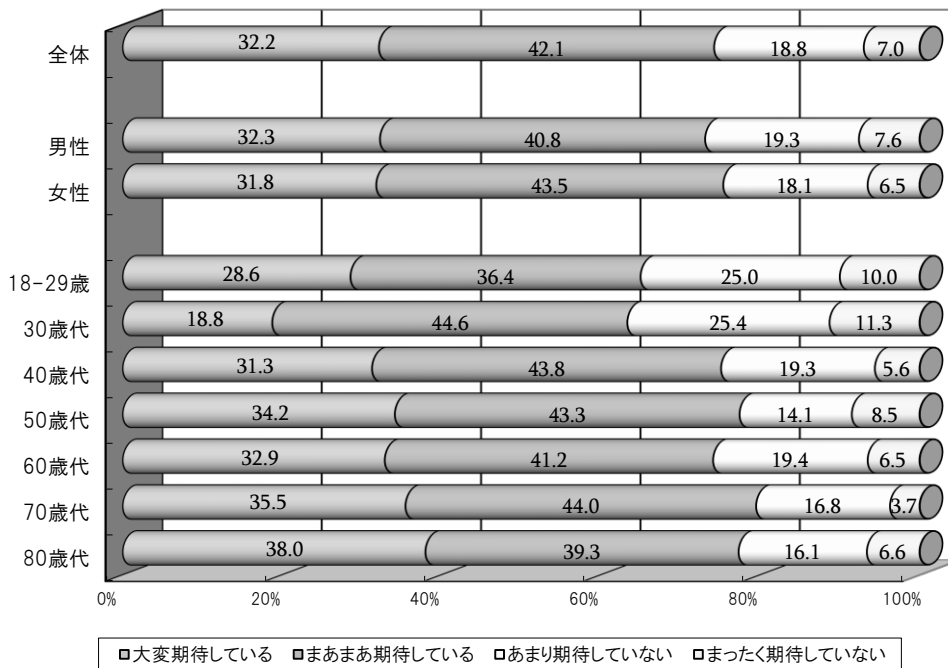


図7 東京オリンピック・パラリンピック開催への期待感 (%)

ラグビーワールドカップに対しては、「感動したし印象に残っている」と回答した者が全体の70.4%にのぼり、県民の多くがワールドスポーツイベント(ラグビー)を通じ感動経験を得たことがわかった。

そのことは、男女問わず同様の傾向であり、なかでも、「50歳代」78.9%、「60歳代」76.4%、「40歳代」72.7%など中・高年齢層において顕著であった。

東京オリンピック・パラリンピックの開催に対して、「大変期待している」32.2%、「まあまあ期待している」42.1%と、県民の74.3%が期待感を抱いており、関心は高いといえよう。また、性別を問わず、高年齢層の関心度が比較的高い傾向となった。

この1年間で、大分県内で活動しているトップスポーツチーム(大分トリニータ、バサジィ大分、大分三好ヴァイセアドラー)の試合を会場で観戦したかを訊ねた。

全体の結果として「観戦した」と回答した者の割合は11.0%となり、前回調査(2013年)からすると減少している(図8)。

この1年間にスポーツチームの試合を会場で観戦したことがあると回答した11.0%の者に対する限定質問として、どのチームの試合を観戦したのかを複数回答で訊ねた(表15)。

大半が「大分トリニータの試合」89.5%の観戦であり、次いで「大分三好ヴァイセアドラーの試合」10.0%、「バサジィ大分の試合」9.0%であった。どのトップスポーツチームも、前回調査(2013年)の結果から比較すると増加傾向にある。

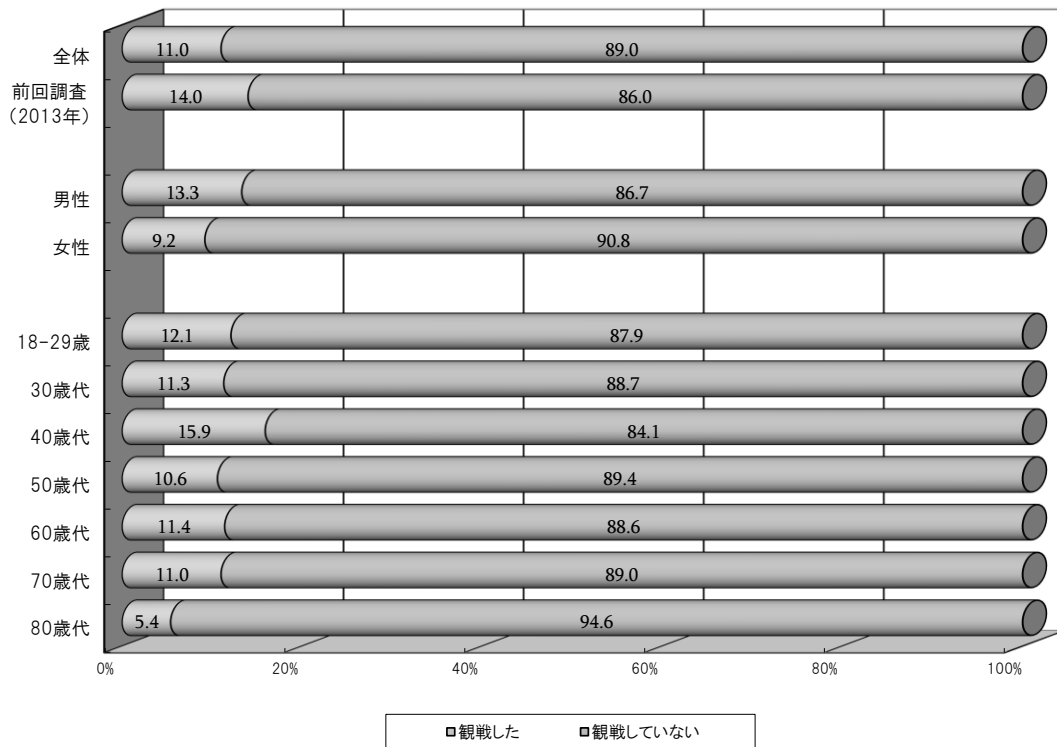


図8 プロスポーツの観戦状況 (%)

【限定質問】表15 観戦経験のあるプロチーム (複数回答・%)

| 項目              | 全体   | 前回調査 (2013年) | 性別   |      | 年齢     |      |      |      |      |      |      |  |
|-----------------|------|--------------|------|------|--------|------|------|------|------|------|------|--|
|                 |      |              | 男性   | 女性   | 18-29歳 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 |  |
| 大分トリニータの試合      | 89.5 | 78.1         | 93.6 | 84.4 | 88.2   | 83.3 | 92.5 | 82.8 | 92.3 | 92.3 | 91.7 |  |
| 大分三好ヴァイセアドラーの試合 | 10.0 | 3.2          | 7.3  | 13.3 | 17.6   | 12.5 | 5.0  | 17.2 | 7.7  | 10.3 | 0.0  |  |
| バサジ大分の試合        | 9.0  | 6.5          | 9.1  | 8.9  | 5.9    | 8.3  | 7.5  | 6.9  | 12.8 | 7.7  | 16.7 |  |

※複数回答であるため、全体結果をもとに降順並び替え処理を実施している。

さらに、大分県で活動するトップスポーツチームに対して県民がどの程度応援しているのかを訊ねた。全体結果は、「熱心に応援している」7.9%、「まあまあ応援している」44.5%、「あまり関心がない」32.6%、「まったく関心がない」15.0%であった(図9)。前回調査(2013年)とさほど変わらない傾向にあり、県民の約半数がスポーツチームを応援する気持ちを持ってはいるが、会場での観戦には至っていないことがわかる。

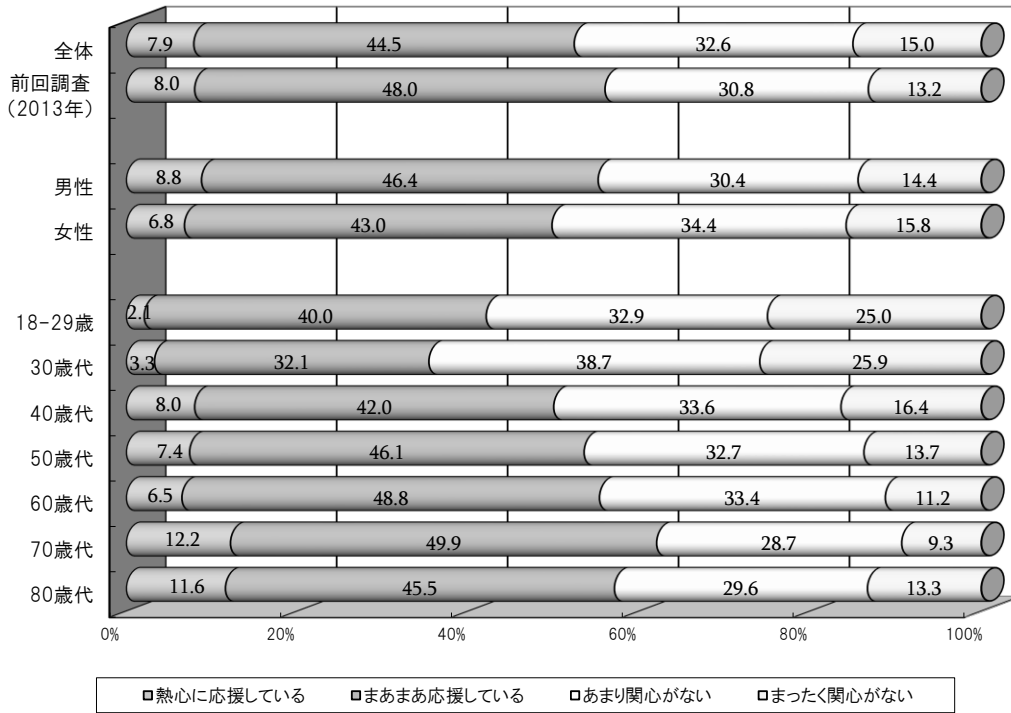


図9 トップスポーツチームに対する応援度 (%)

#### 4) 「支えるスポーツ」に対する意識

この1年間にスポーツにかかわるボランティア活動を行った割合をみると、全体結果では、「ある」7.7%、「ない」92.3%であった(図10)。前回調査(2013年)とさほどの変化はみられない。

スポーツ庁調査では、ボランティア活動に参加したことが「ある」者(“日常的・定期的に行った”, “イベント・大会で不定期に行った”の合算)が11.0%であることを考慮すると、本県民のスポーツにかかわるボランティア活動参加状況はやや低いといえよう。

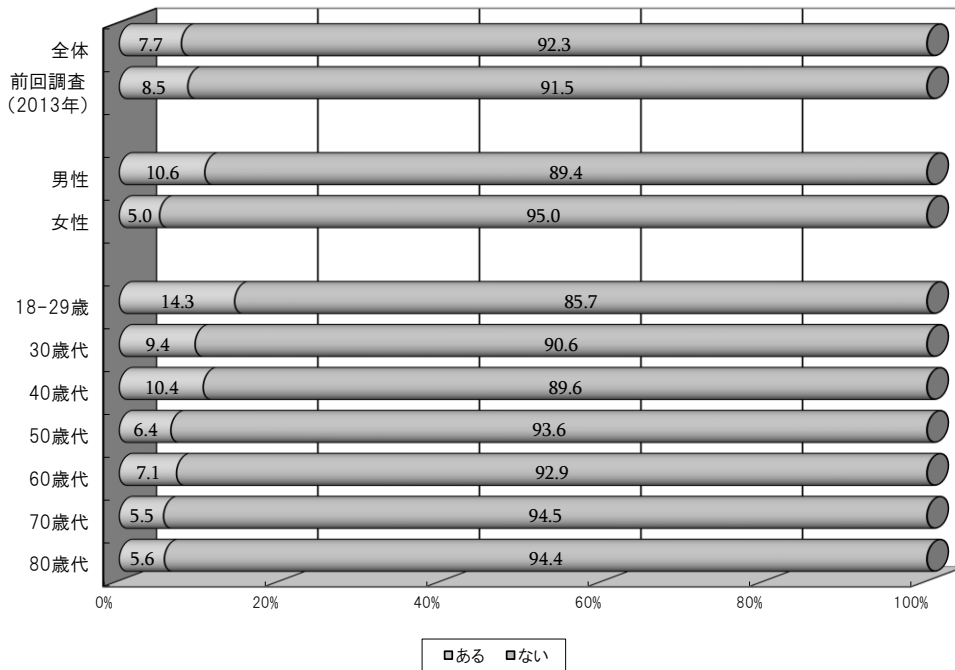


図10 スポーツにかかわるボランティア参加の状況 (%)



この1年間にスポーツにかかわるボランティア活動に参加したことがあると回答した7.9%の者に対する限定質問として、具体的にはどのような活動に参加したのかを複数回答で訊ねた。

最も高い数値は、「大会やイベントなどでの一般的な支援」45.3%、次いで「クラブやスポーツ団体の運営や活動の手伝い」43.8%、「スポーツの指導・コーチ」24.8%等であった(表16)。いずれの項目も、前回調査(2013年)と同様に上位にあがっている。

また、同じく限定質問として、「スポーツにかかわるボランティア活動の報酬に対する考え方」について訊ねた(図11)。全体結果では、「報酬は必要ない」が50.4%で最も多かった。一方、「活動場所への交通費等の負担経費について受けるべき」29.3%や「活動に見合う報酬を受取るべき」17.3%など、ボランティア活動への対価を求める者は46.6%であり、特に「40歳代」以下の年齢層に多くみられる。

表16 【限定質問】 参加したボランティア活動の内容(複数回答・%)

| 項目  | 全体   | 前回調査<br>(2013年) | 性別   |      | 年齢     |      |      |      |      |      |      |  |
|---|------|-----------------|------|------|--------|------|------|------|------|------|------|--|
|   |      |                 | 男性   | 女性   | 18-29歳 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 |  |
| 大会やイベントなどでの一般的な支援<br>(受付・案内、記録・掲示、接待、運搬・運転など) | 45.3 | 44.4            | 40.9 | 54.3 | 31.6   | 45.0 | 53.8 | 55.6 | 58.3 | 33.3 | 25.0 |  |
| クラブやスポーツ団体の運営や活動の手伝い<br>(クラブ役員、世話役、運搬・運転など)   | 43.8 | 48.5            | 47.7 | 37.0 | 31.6   | 45.0 | 73.1 | 38.9 | 20.8 | 44.4 | 50.0 |  |
| スポーツの指導・コーチ                                   | 24.8 | 21.4            | 34.1 | 6.5  | 36.8   | 35.0 | 23.1 | 16.7 | 25.0 | 16.7 | 16.7 |  |
| スポーツ施設の管理や手伝い<br>(清掃、用具の準備・後片付け、車の誘導など)       | 22.6 | 22.8            | 29.5 | 10.9 | 10.5   | 20.0 | 3.8  | 22.2 | 25.0 | 44.4 | 50.0 |  |
| 大会やイベントなどにおいて専門的な立場からの支援<br>(審判員、データ処理、通訳など)  | 19.7 | 14.0            | 23.9 | 10.9 | 36.8   | 15.0 | 19.2 | 16.7 | 25.0 | 5.6  | 16.7 |  |
| 障がい者のスポーツ活動に対する支援                             | 7.3  | 12.9            | 6.8  | 8.7  | 10.5   | 25.0 | 3.8  | 0.0  | 4.2  | 5.6  | 0.0  |  |
| その他   | 2.9  | 8.7             | 2.3  | 4.3  | 5.3    | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 0.0  | 11.1 | 8.3  |  |

※複数回答であるため、全体結果をもとに降順並び替え処理を実施している。

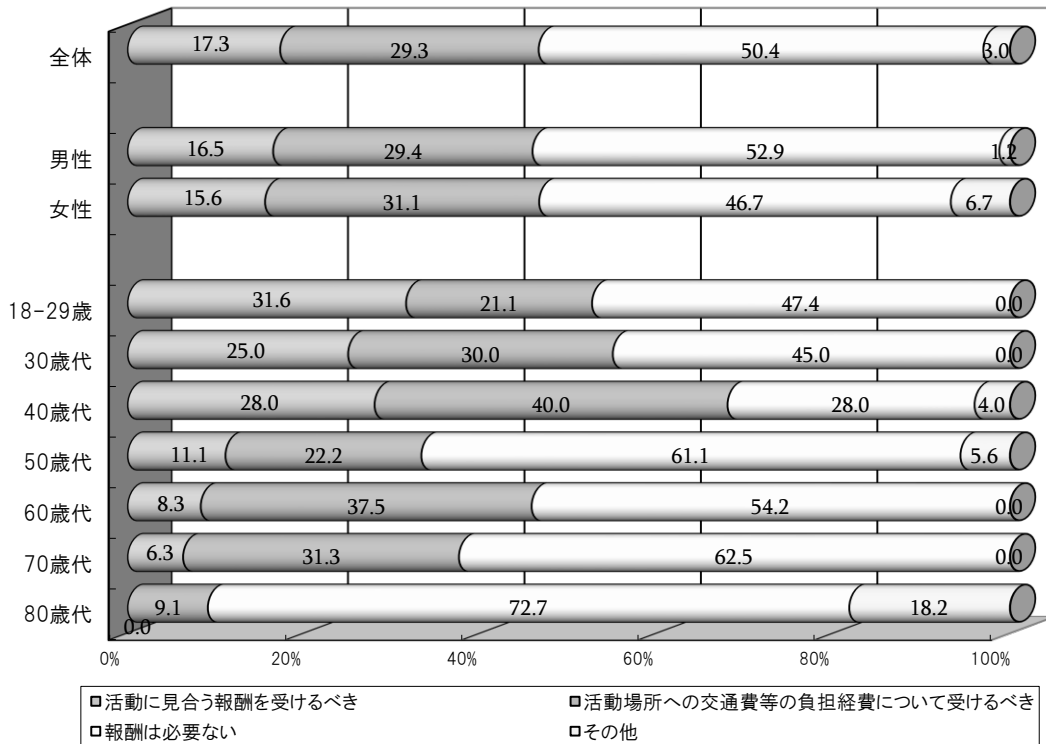


図11 【限定質問】 スポーツにかかわるボランティア活動の報酬に対する考え方 (%)



県民の今後のスポーツにかかわるボランティア参加意向について訊ねた(図12)。

全体結果としては、「機会があればしてみたい」が47.7%で最も高く、積極的な参加意向を示す「してみたい」は4.8%にとどまっている。しかしながら、半数に近い者が「機会があればしてみたい」と回答していることは、県民の多くに潜在的なボランティア参加意識があることを確認することとなり、今後、これらの県民に対する適切な働きかけがなされさえすれば、「支えるスポーツ」人口の増大をはかることが可能となろう。

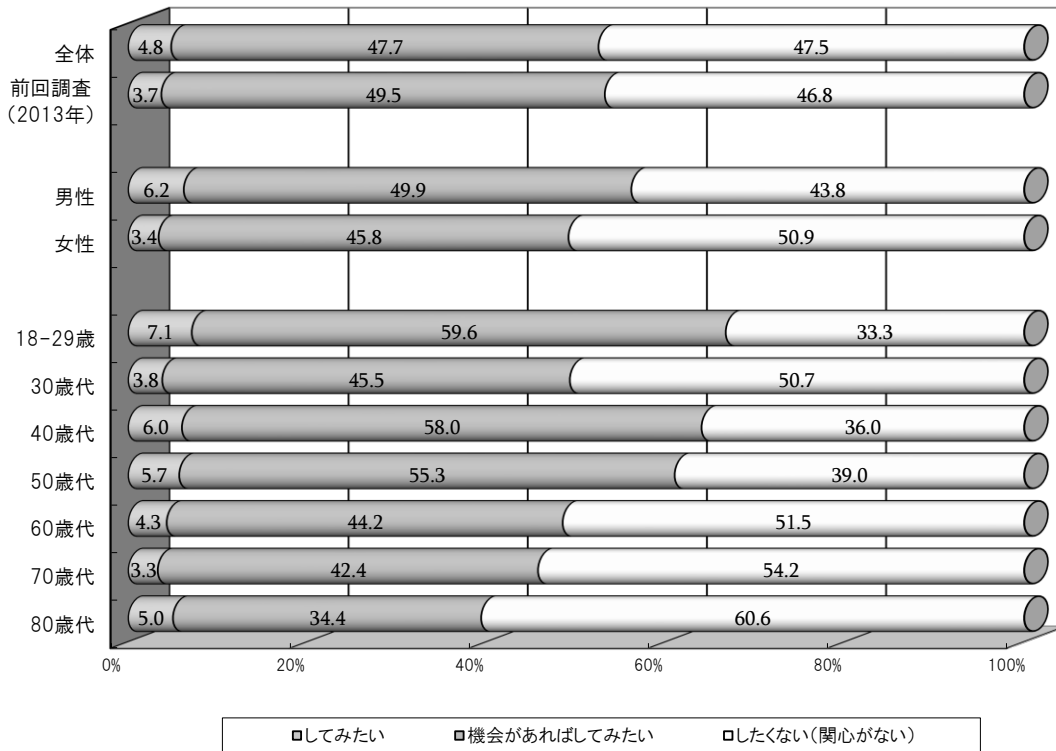


図12 今後のスポーツにかかわるボランティア参加意向(%)



### 5) 総合型地域スポーツクラブに対する意識

全国的にその創設が進み、本県においても全市町村で少なくとも1クラブ以上創設されている総合型地域スポーツクラブに対する認知度を訊ねた。

全体結果としては、「知っている」12.2%、「聞いたことはある」19.4%、「知らない」68.3%であった(図13)。

本県における総合型地域スポーツクラブ創設の動きは、平成13年度から始まっており、令和元年7月現在、44クラブ(設立準備クラブなし)が活動している。前回調査時(平成25年3月時点)には設立準備中を含め42クラブが活動をしていた。この7年間の間でクラブ数は安定しているものの、県民の認知度は前回調査(2013年)からほぼ横ばいの状態にとどまっている。

また、この結果と「住んでいる地域に総合型地域スポーツクラブがありますか」と訊ねた質問項目の回答結果は、同様の傾向を示した(図14)。

さらに、「住んでいる地域に総合型地域スポーツクラブがありますか」との質問に対し、「ある」と回答した者に限定質問として、「住んでいる地域にある総合型地域スポーツクラブに対する評価(活動状況)」を訊ねた。

全体結果は、「盛んに活動している」50.0%、「盛んに活動していない」15.5%、「よくわからない」34.5%であった(図15)。総合型地域スポーツクラブの存在に認識を示す者の半数は、クラブの活動が活況であると感じており、前回調査(2013年)からすると増加傾向にある。一方で、「よくわからない」と回答した者が34.5%いることから、総合型地域スポーツクラブの活動実態がどういったものであるのか、広く周知されるには至っていない状況にあると考えられる。

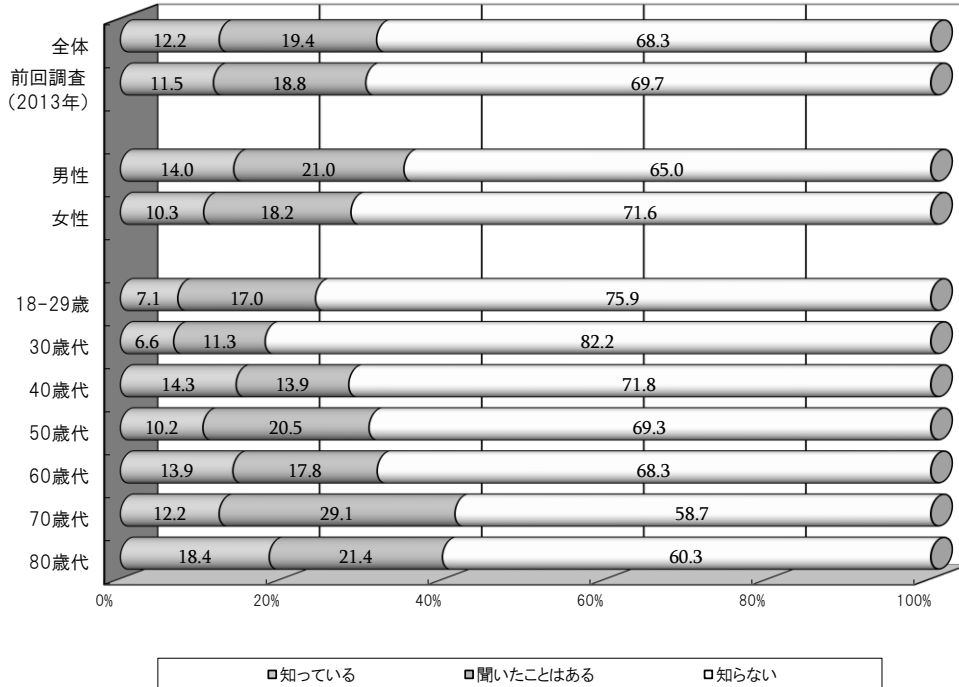


図13 総合型地域スポーツクラブの認知度 (%)



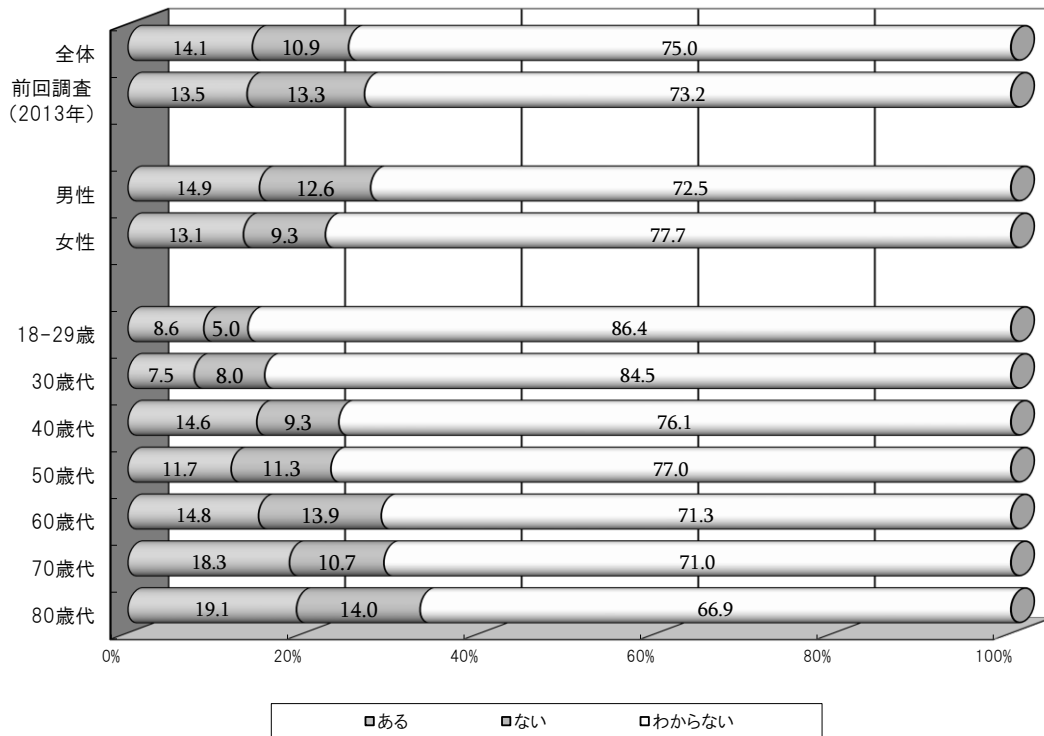


図 14【限定質問】 居住地域(中学校区程度)における総合型地域スポーツクラブの設立状況 (%)

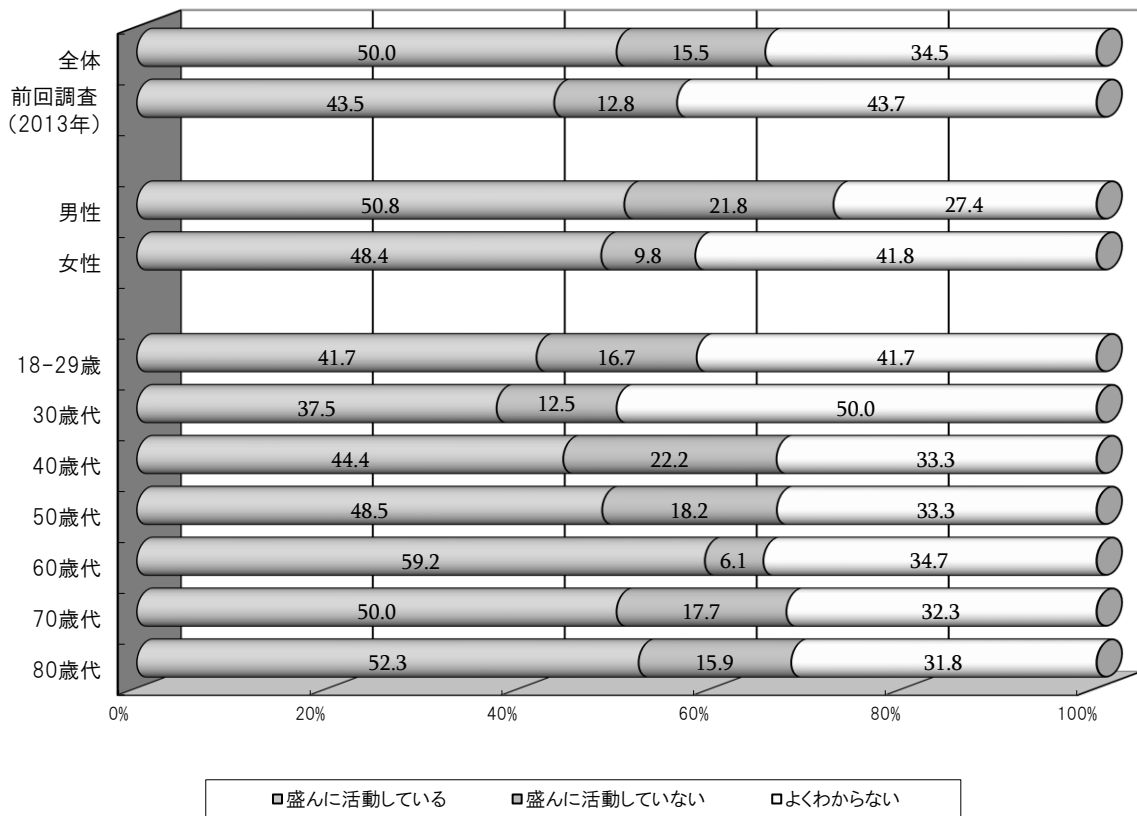


図 15【限定質問】 居住地域にある総合型地域スポーツクラブに対する評価(活動状況) (%)



今後、総合型地域スポーツクラブの会員になりたいと思うかを訊ねた(図16)。なお、設問の前提に、総合型地域スポーツクラブに対する認識がまったくない者も存在することから、「総合型地域スポーツクラブとは」なる説明を囲み記事的に施している。

全体結果としては、「すでにクラブ会員であり継続したい」2.7%、「身近にそういったクラブがあればぜひ会員になりたい」3.8%、「身近にそういったクラブができ、良さそうであれば会員になりたい」29.0%、「たぶん会員にはならない」40.3%、「わからない」24.2%であった。前回調査(2013年)と大きな変化はみられない。

身近にクラブができ、なおかつクラブ活動が魅力的であれば加入したいとの意向が30%強で維持されていることから、県内における既存の総合型地域スポーツクラブには更なる経営努力が期待されるところである。

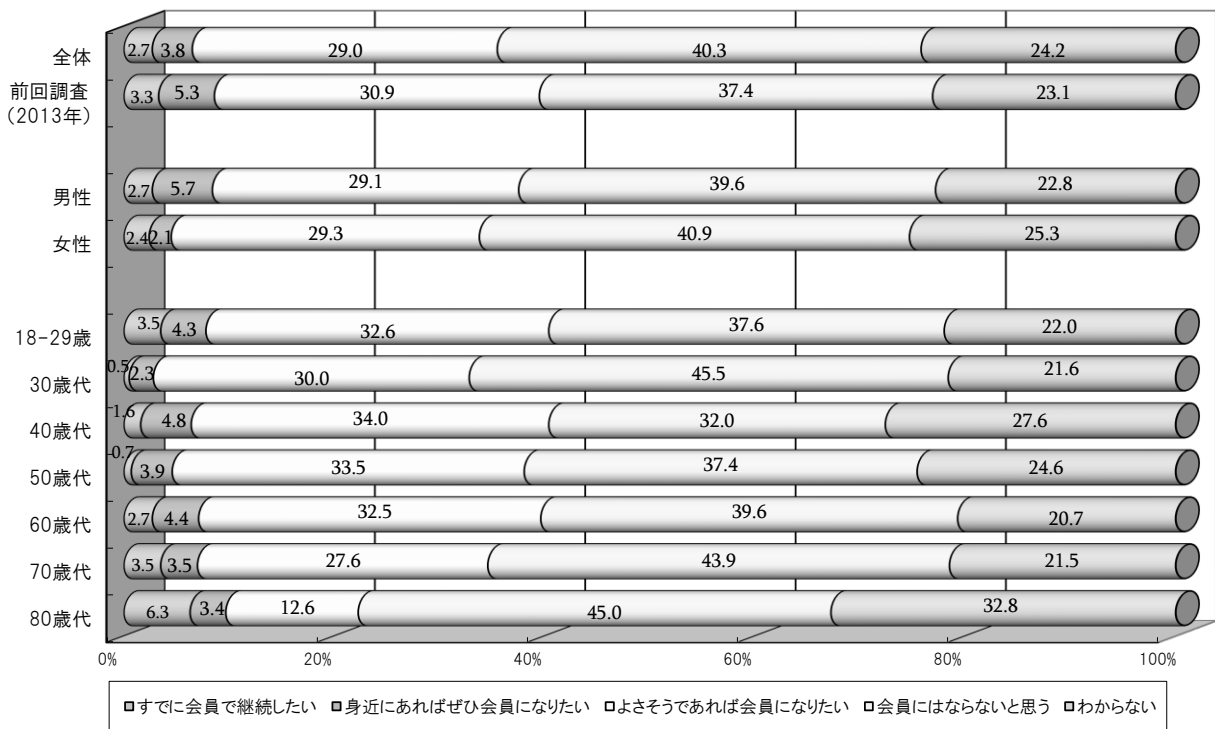


図16 総合型地域スポーツクラブへの加入意向(%)

今後、県民が求める地域スポーツの活性化策を把握するため、「あなたは、住んでいる地区・地域のスポーツ活動をもっと活発にするためには、どのような取り組みが必要だと思いますか」との質問を設け、複数回答を求めた(表17)。

回答数値の高い上位項目は、「初心者や家族でも参加しやすいこと」59.7%、「会費が安いこと」55.7%、「運動やスポーツをすることで新しい仲間ができるような雰囲気」47.8%、「やりたい種目を選択し体験できること」46.0%、「健康づくり(維持増進)のためのプログラムが用意されていること」45.7%であった。

「初心者や家族でも参加しやすいこと」、「運動やスポーツをすることで新しい仲間ができるような雰囲気」、「やりたい種目を選択し体験できること」、「健康づくり(維持増進)のためのプログラムが用意されていること」といった項目は、今後の総合型地域スポーツクラブ展開における大いなるヒントと捉えるべきであろう。



表 17 地区・地域のスポーツ活動を活性化するために、総合型地域スポーツクラブに求める取り組み（複数回答・%）

| 項目                                | 全体   | 性別   |      | 年齢     |      |      |      |      |      |      |  |
|-----------------------------------|------|------|------|--------|------|------|------|------|------|------|--|
|                                   |      | 男性   | 女性   | 18-29歳 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 |  |
| 初心者や家族でも参加しやすいこと                  | 59.7 | 56.0 | 63.4 | 70.3   | 70.2 | 68.8 | 62.1 | 54.5 | 52.5 | 46.9 |  |
| 会費が安いこと                           | 55.7 | 50.0 | 61.0 | 63.8   | 67.8 | 59.1 | 62.5 | 55.2 | 46.5 | 39.1 |  |
| 運動やスポーツをすることで新しい仲間ができるような雰囲気      | 47.8 | 48.0 | 47.5 | 60.9   | 46.3 | 44.7 | 49.6 | 46.8 | 44.2 | 49.0 |  |
| やりたい種目を選択し体験できること                 | 46.0 | 44.6 | 47.4 | 60.1   | 53.7 | 53.6 | 51.1 | 42.5 | 37.5 | 30.7 |  |
| 健康づくり(維持増進)のためのプログラムが用意されていること    | 45.7 | 41.1 | 50.0 | 36.2   | 37.1 | 40.1 | 54.0 | 49.7 | 49.5 | 44.8 |  |
| 活動の情報が手軽に入手できること                  | 28.3 | 27.2 | 29.5 | 28.3   | 35.1 | 34.6 | 32.4 | 25.6 | 24.6 | 18.8 |  |
| 専門的・親身になってくれる指導者がいること             | 26.2 | 24.8 | 27.5 | 31.9   | 30.7 | 30.8 | 26.1 | 23.7 | 22.6 | 21.4 |  |
| スポーツだけではなく他の文化的活動も並行して楽しむことができること | 24.1 | 21.5 | 26.4 | 12.3   | 15.1 | 16.9 | 26.1 | 29.9 | 28.6 | 31.8 |  |
| シャワーやサウナ、談話室、レストランなどがあること         | 21.0 | 22.5 | 20.1 | 34.8   | 24.4 | 26.2 | 22.4 | 17.9 | 15.9 | 13.0 |  |
| 託児所が備えてあること                       | 15.5 | 12.7 | 18.2 | 26.1   | 36.1 | 14.8 | 16.5 | 11.4 | 5.6  | 7.8  |  |
| 専門的(競技として)に行えるプログラムが用意されていること     | 8.4  | 11.4 | 5.9  | 10.1   | 9.8  | 12.7 | 8.1  | 7.8  | 5.3  | 6.8  |  |
| その他                               | 3.1  | 3.7  | 2.6  | 0.7    | 3.4  | 2.5  | 3.7  | 3.9  | 4.0  | 2.1  |  |

※複数回答であるため、全体結果をもとに降順並び替え処理を実施している。



#### 4 日常生活の満足度と運動習慣の関連性

県民の現在の生活に対する主観的満足度（Quality of Lifeレベル，以下，QOL）と日常的な運動習慣の有無との関連性について検討する。運動習慣の有無区分にあたっては，前出図3において「週3日以上」「週に1～2日」を選択した者を「運動習慣有群」，それ以外を選択した者を「運動習慣無群」とした。

以下では，運動習慣の有無と QOL を測定する 3つの質問項目をクロス集計分析し，両者間（運動習慣の有無）の回答傾向を有意差検定により比較検討する。

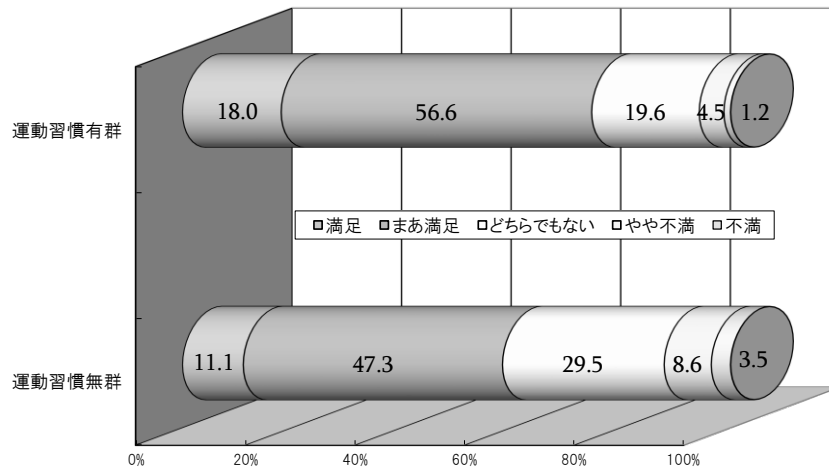


図 17 日常的な運動習慣と「生活に対する満足度」(% p<.001)

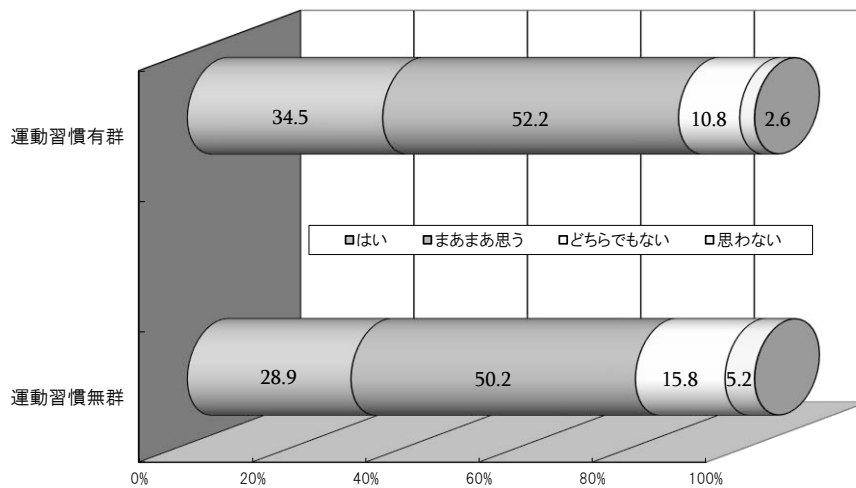


図 18 日常的な運動習慣と「幸福感」(% p<.001)

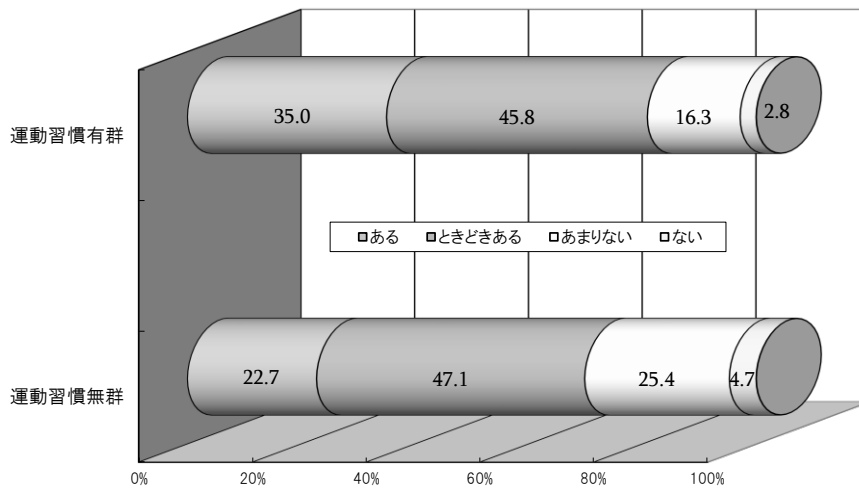


図 19 日常的な運動習慣と「生きがい・生活のはり」(% p<.001)

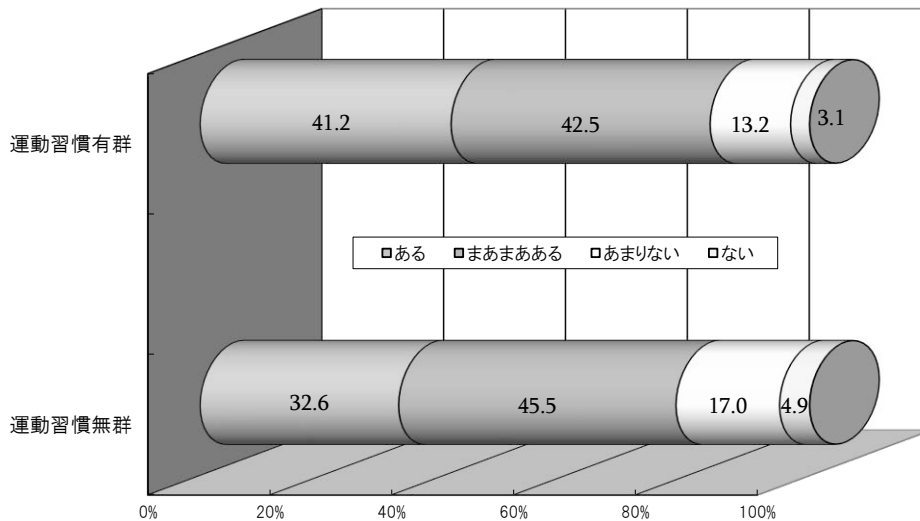
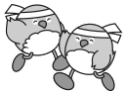


図 20 日常的な運動習慣と「地域への愛着」(% p<.001)

図 17～19 に示した運動習慣と QOL 関連 3 項目間には、いずれも回答傾向に有意差を確認することとなった。つまり、「日常的に運動習慣を有している者ほど、生活に対する満足度、幸福感、生きがいの程度は高い状況にある」ことがわかる。換言すれば、日常的な運動は、成人の生活の質を高めることに貢献する可能性を確認することになる。

また、図 20 に示した通り、運動習慣の形成が認められる場合、居住地域への愛着（帰属意識）も高いことが確認できる。

これらの結果からも、今後の本県におけるスポーツの推進は、心身ともに健康で豊かな生活を県民に保障し、本県の“スポーツを通じた地域活性化”を掲げるうえで、極めて重要な取り組みであることを再認識すべきである。



## VI 調査結果(児童・生徒調査)

### 1 基本的属性傾向

表 18 性別・年齢・所属の構成

|       |     | n    | %     |
|-------|-----|------|-------|
| 性別    | 男性  | 667  | 50.3  |
|       | 女性  | 659  | 49.7  |
|       | 計   | 1326 | 100.0 |
| 年齢・所属 | 小学生 | 454  | 33.9  |
|       | 中学生 | 422  | 31.5  |
|       | 高校生 | 462  | 34.7  |
|       | 計   | 1338 | 100.0 |

児童・生徒調査における分析対象サンプルは1,338部であり、性別は男女半数ずつ、所属に関しては、「小学生」「中学生」および「高校生」がほぼ均等のサンプル数となった(表18)。

以下の分析では主に、「性別」「学校種別」の傾向と前回調査(2013年)との比較を中心に報告する。

### 2 運動・スポーツに対する意識と活動実態

#### 1) 運動・スポーツに対する好き嫌い

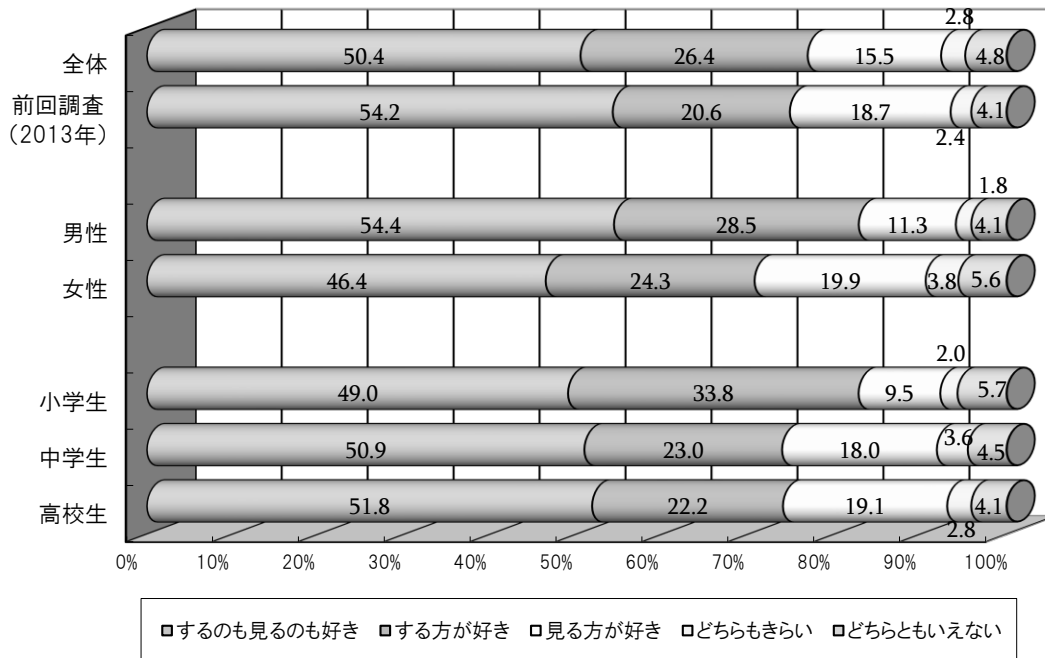


図 21 運動・スポーツに対する好き嫌いの意識 (%)

全体結果としては、「するのを見るのも好き」が50.4%と最も高い数値であり、次いで「する方が好き」26.4%、「見る方が好き」15.5%となる。「どちらもきれい」はわずかに2.8%であった(図21)。

この結果を、学校種別にみると、大きな差異はみられないが、「小学生」における「する方が好き」の



数値が顕著に高い。

つぎに、限定質問にて「運動・スポーツが好きな理由」を複数回答で訊ねた（表 19）。

全体結果で上位にあがる項目としては、「うまくなった時の喜び」73.8%、「ゲームに勝ったときの喜び」54.2%、「ストレスの解消になるから」35.1%等であった。なお、これらの上位項目は、前回調査（2013）の結果と同じ傾向を示している。

表 19 【限定質問】運動・スポーツが好きな理由（複数回答・%）

| 項目                  | 今回調査 | 前回調査<br>(2013年) | 性別   |      | 年齢   |      |      |
|---------------------|------|-----------------|------|------|------|------|------|
|                     |      |                 | 男性   | 女性   | 小学生  | 中学生  | 高校生  |
| うまくなった時の喜び          | 73.8 | 66.9            | 72.4 | 75.5 | 72.4 | 77.2 | 71.6 |
| ゲームに勝ったときの喜び        | 54.2 | 56.5            | 59.6 | 47.9 | 42.1 | 65.9 | 57.1 |
| ストレスの解消になるから        | 35.1 | 23.2            | 31.1 | 39.9 | 21.7 | 34.7 | 49.9 |
| からだが丈夫になるから         | 34.0 | 26.3            | 36.2 | 31.3 | 34.3 | 38.3 | 29.0 |
| 友達が増えるから            | 22.3 | 20.5            | 23.5 | 21.0 | 16.9 | 21.2 | 28.7 |
| 家族からほめてもらえる(もらえた)から | 19.9 | 15.8            | 16.5 | 23.8 | 29.5 | 17.7 | 11.0 |
| 先生にほめてもらえる(もらえた)から  | 17.2 | 14.0            | 14.0 | 21.0 | 18.0 | 17.0 | 16.2 |
| その他                 | 8.7  | 7.3             | 6.5  | 11.2 | 11.3 | 8.0  | 6.1  |
| 目立てるから              | 5.5  | 5.1             | 7.3  | 3.4  | 5.4  | 4.8  | 6.1  |

※複数回答であるため、全体結果をもとに降順並び替え処理を実施している。

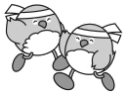
また、対象サンプル数はわずかであったが、図 21 で「どちらもきらい」を選択した者に対し、「運動・スポーツが嫌いな理由」について訊ねた（表 20）。

全体結果では、「うまくできないから」58.3%、「他に好きなことがあるから」50.0%、「競争することが好きではないから」44.4%、「恥をかきたくないから」41.7%等の項目があがっている（表 20）。これらの回答項目も上述同様、前回調査（2013）とほぼ同様の傾向ではあるが、「他に好きなことがあるから」などは顕著に高まっており、運動・スポーツ以外の趣味や活動の存在を示している。

表 20 【限定質問】運動・スポーツがきらいな理由（複数回答・%）

| 項目                  | 今回調査 | 前回調査<br>(2013年) | 性別   |      | 年齢   |      |      |
|---------------------|------|-----------------|------|------|------|------|------|
|                     |      |                 | 男性   | 女性   | 小学生  | 中学生  | 高校生  |
| うまくできないから           | 58.3 | 60.7            | 50.0 | 62.5 | 66.7 | 53.3 | 58.3 |
| 他に好きなことがあるから        | 50.0 | 28.6            | 58.3 | 45.8 | 55.6 | 60.0 | 33.3 |
| 競争することが好きではないから     | 44.4 | 39.3            | 58.3 | 37.5 | 33.3 | 46.7 | 50.0 |
| 恥をかきたくないから          | 41.7 | 32.1            | 25.0 | 50.0 | 44.4 | 40.0 | 41.7 |
| 汗をかきたくないから          | 38.9 | 21.4            | 33.3 | 41.7 | 22.2 | 46.7 | 41.7 |
| その他                 | 19.4 | 25.0            | 33.3 | 12.5 | 22.2 | 26.7 | 8.3  |
| 仲間を作ることが苦手だから       | 16.7 | 17.9            | 0.0  | 25.0 | 22.2 | 26.7 | 0.0  |
| 先生に怒られたことがあるから      | 13.9 | 14.3            | 25.0 | 8.3  | 33.3 | 13.3 | 0.0  |
| 家族からあまり勤められてこなかったから | 13.9 | 3.6             | 16.7 | 12.5 | 22.2 | 20.0 | 0.0  |
| からだが丈夫ではないから        | 11.1 | 14.3            | 8.3  | 12.5 | 0.0  | 13.3 | 16.7 |
| 指導者(先生)がこわいから       | 11.1 | 14.3            | 8.3  | 12.5 | 11.1 | 20.0 | 0.0  |

※複数回答であるため、全体結果をもとに降順並び替え処理を実施している。



## 2) 運動・スポーツの実施状況

この1年間における運動やスポーツの実施状況について訊ねた。なお、「体育の授業以外で」との文言を質問に含んでいる。

全体結果は、「週3日以上」59.5%、「週に1～2日」20.2%となり、成人調査において取り扱っている「定期的な運動・スポーツ実施頻度」指標としての「週1日以上」実施率は79.7%であった(図22)。前回調査(2013年)と比較すると増加傾向にある。また、「男性」が顕著に高い値を示した。

この数値を学校種別にみると「中学生」において「週に3日以上」の数値が顕著に高くなっており、前回調査(2013年)と比較しても同様の傾向にある(前回調査:「中学生」,「週3日以上」80.9%)。

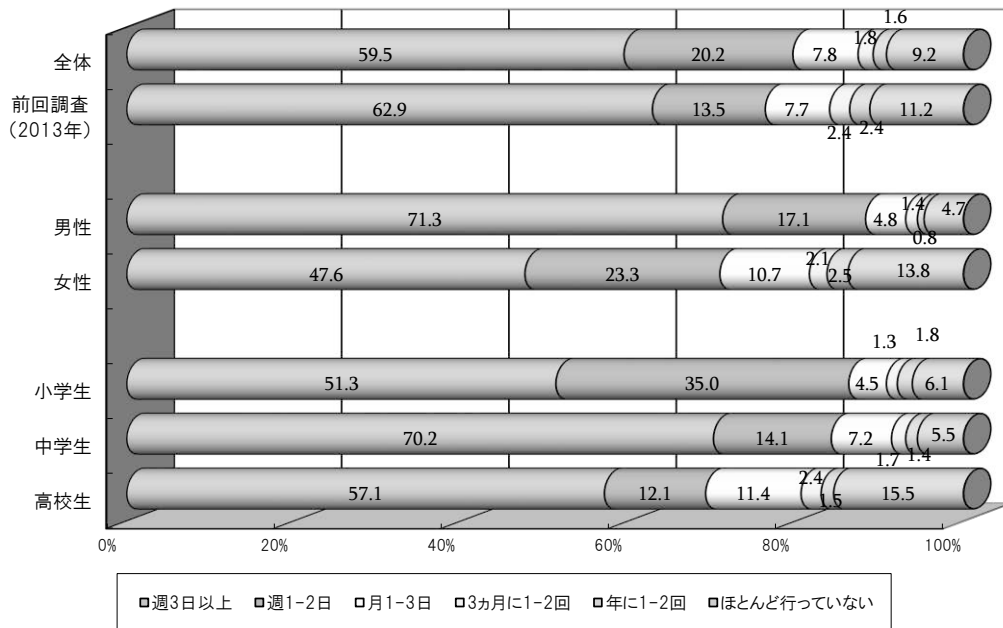


図22 運動・スポーツの実施状況(体育の授業以外%)

また、今後の運動・スポーツ実施意向も全体的に同様に高い傾向を示した(図23)。

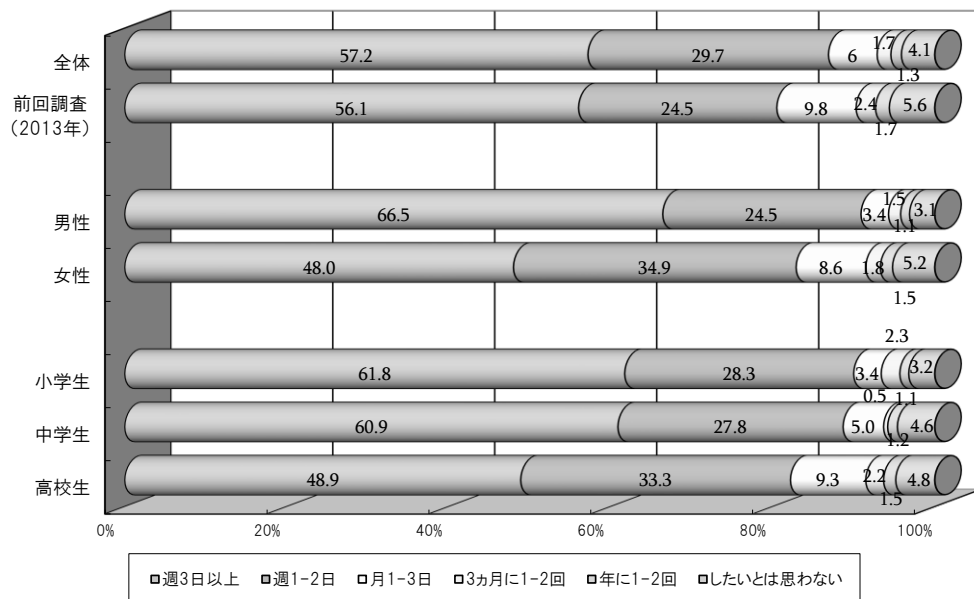


図23 今後の運動・スポーツの実施意向(%)





つぎに、児童・生徒たちはどのような運動・スポーツ種目を実施したいと考えているのかをみる。成人調査同様、40種目を設定し、複数回答で実施希望種目を選択してもらった。

全体結果で上位にあがる種目としては、「バドミントン」39.0%、「釣り」29.5%、「ボウリング」28.3%、「ドッジボール」27.1%、「キャンプ(野外活動)」25.3%であった(表21)。

前回調査(2013年)においても、同様の結果であった。成人調査(表10)の年代別上位には、「キャンプ(野外活動)」が同様にあがっていることから、本県においては他年代交流の機会となる野外活動などの推進にも期待が高まるであろう。

表21 今後行いたい運動・スポーツ種目(複数回答・%)

|                 |     | 上位種目(下段は%) |          |          |                     |            |
|-----------------|-----|------------|----------|----------|---------------------|------------|
|                 |     | 1位         | 2位       | 3位       | 4位                  | 5位         |
| 全 体             |     | バドミントン     | 釣り       | ボウリング    | ドッジボール              | キャンプ(野外活動) |
|                 |     | 39.0       | 29.5     | 28.3     | 27.1                | 25.3       |
| 前回調査<br>(2013年) |     | バドミントン     | バスケットボール | ボウリング    | 釣り                  | キャンプ(野外活動) |
|                 |     | 32.3       | 29.4     | 27.2     | 26.3                | 25.2       |
| 性 別             | 男性  | 釣り         | サッカー     | ドッジボール   | ボウリング               | バドミントン     |
|                 |     | 42.1       | 32.5     | 31.6     | 30.8                | 29.4       |
| 性 別             | 女性  | バドミントン     | ダンス      | スケート     | バレーボール              | キャンプ(野外活動) |
|                 |     | 49.2       | 39.0     | 33.9     | 27.5                | 26.5       |
| 年 齢             | 小学生 | ドッジボール     | 釣り       | ボウリング    | バドミントン              | 水泳         |
|                 |     | 40.1       | 39.5     | 39.2     | 38.8                | 31.8       |
| 年 齢             | 中学生 | バドミントン     | 釣り       | 卓球       | キャンプ(野外活動)、バスケットボール | ボウリング      |
|                 |     | 39.4       | 29.9     | 27.4     | 26.9                | 26.0       |
| 年 齢             | 高校生 | バドミントン     | スキー      | バスケットボール | バレーボール              | スケート       |
|                 |     | 38.9       | 26.9     | 24.9     | 24.7                | 23.4       |

### 3) 「みるスポーツ」に対する意識(ワールド・スポーツイベント、トップスポーツへの意識)

成人調査と同様に、2019年に本県でも5試合が開催された「ラグビーワールドカップ」、そして、2021年に延期された「東京オリンピック・パラリンピック」の開催に対する県民の意識を訊ねた(図24、図25)。

ラグビーワールドカップに対しては、「感動したし印象に残っている」と回答した者は全体の53.2%であり、児童・生徒の約半数がワールドスポーツイベント(ラグビー)を通じ感動経験を得たことがわかった。そのことは、性別、学校種別を問わず同様の傾向を示した。

東京オリンピック・パラリンピックの開催に対しては、「大変期待している」29.9%、「まあまあ期待している」48.8%と、児童・生徒の78.7%が期待感を抱いており、成人と同様に関心は高いといえよう。

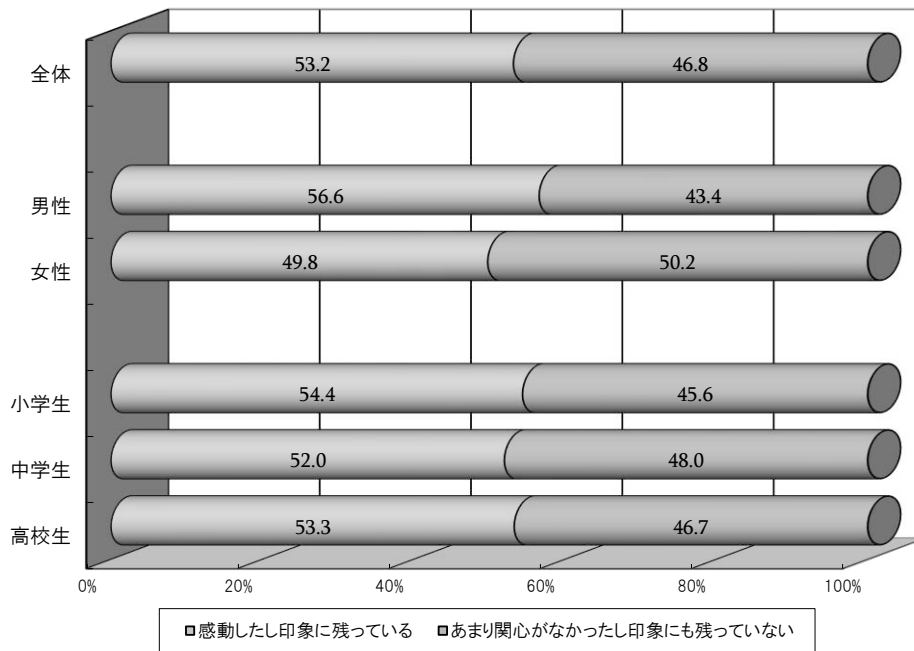


図 24 ラグビーワールドカップ開催の感想 (%)

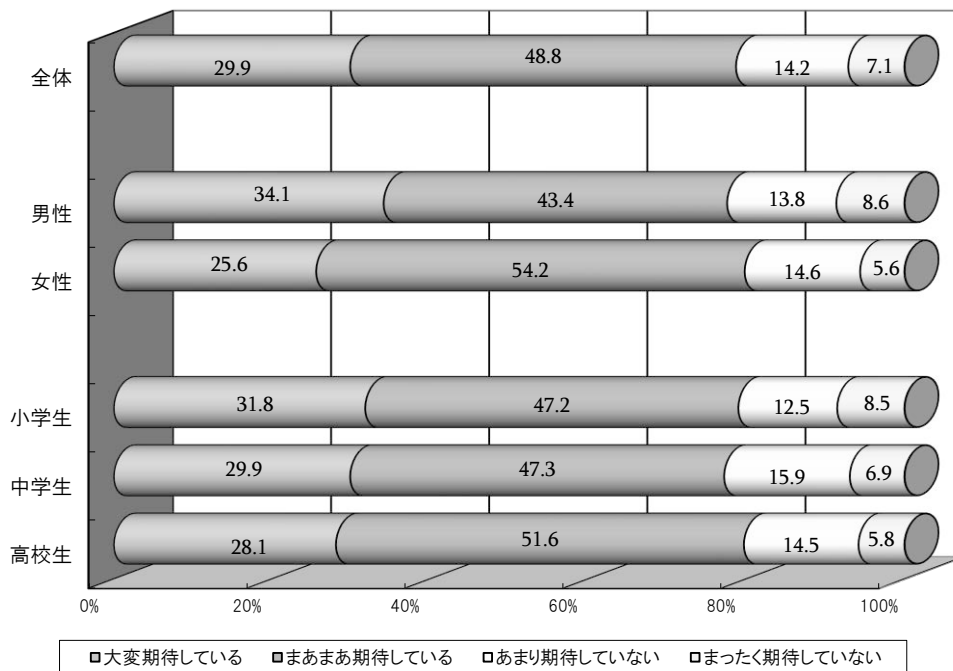


図 25 東京オリンピック・パラリンピック開催への期待感 (%)

この1年間で、大分県内で活動しているトップスポーツチーム（大分トリニータ、バサジィ大分、大分三好ヴァイセアドラー）の試合を会場で観戦したかを訊ねた。

全体結果として「観戦した」と回答した者の割合は12.9%となり、前回調査（2013年）からすると減少している（図26）。

この1年間にスポーツチームの試合を会場で観戦したことがあると回答した12.9%の者に対する限



定質問として、どのチームの試合を観戦したのかを複数回答で訊ねた（表 22）。

全体結果としては、「大分トリニータの試合」88.2%と高く、次いで「バサジィ大分の試合」18.9%、「大分三好ヴァイセアドラーの試合」7.1%であった。前回調査（2013年）の結果すると減少傾向にある。「性別」でみると、「男性」は「大分トリニータの試合」が他に比して顕著に高く、「女性」も同様に、「大分トリニータの試合」が最も高い傾向を示している。

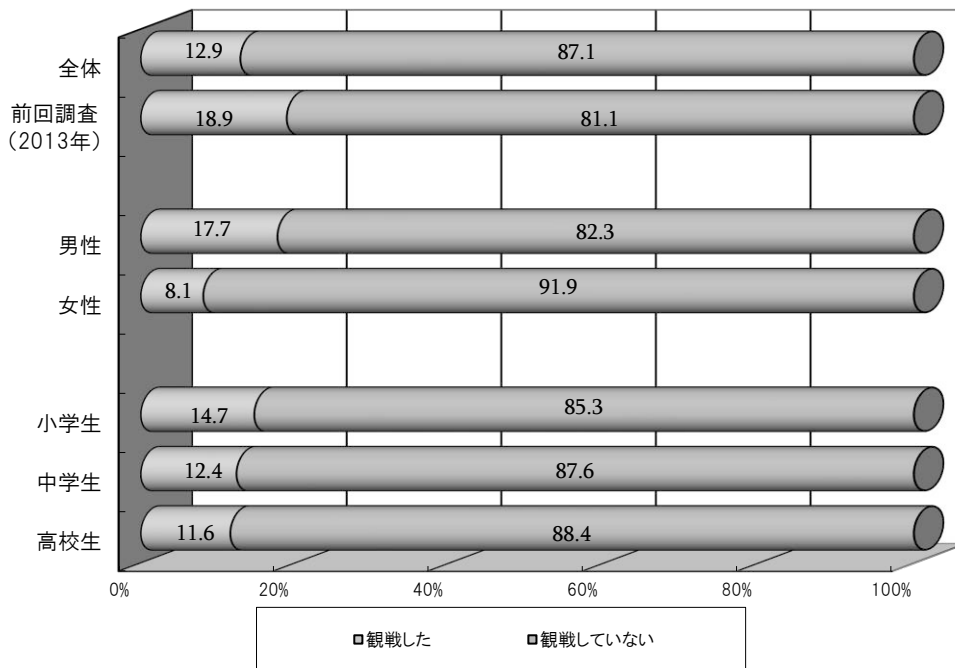


図 26 トップスポーツチームの試合観戦状況 (%)

表 22 【限定質問】 観戦したトップスポーツチーム (%)

| 項目              | 今回調査 | 前回調査<br>(2013年) | 性別   |      | 年齢   |      |      |
|-----------------|------|-----------------|------|------|------|------|------|
|                 |      |                 | 男性   | 女性   | 小学生  | 中学生  | 高校生  |
| 大分トリニータの試合      | 88.2 | 72.2            | 92.1 | 79.2 | 96.8 | 78.8 | 87.0 |
| バサジィ大分の試合       | 18.9 | 14.9            | 16.7 | 24.5 | 20.6 | 25.0 | 11.1 |
| 大分三好ヴァイセアドラーの試合 | 7.1  | 9.0             | 7.0  | 7.5  | 3.2  | 9.6  | 9.3  |

※複数回答であるため、全体結果をもとに降順並び替え処理を実施している。

さらに、「大分県内で活動しているスポーツチームに対する応援の気持ちはどの程度ですか」との質問項目を設定し、児童・生徒の大分県内のスポーツチームに対する応援度を把握した。

全体結果としては、「熱心に応援している」8.9%、「まあまあ応援している」37.5%、「あまり関心がない」30.2%、「まったく関心がない」23.5%であった（図27）。「性別」でみると、「男性」の方が「女性」に比べて、「熱心に応援している」者の割合が高く、学校種別でみると、「小学生」が最も高くなった。これらの傾向は前回調査（2013年）と同様であることを付記しておく。

全体で「熱心に応援している」と「まあまあ応援している」と回答した者を合わせると47.4%であり、児童・生徒の約半数は大分県内で活動するスポーツチームに応援する気持ちを持っていることがわかる。



しかながら、図 26 のとおり、会場で試合を観戦した者は全体で 12.9%にとどまっている。この傾向は、成人調査においても確認したが、今後、トップスポーツチームに対して応援する気持ちを持っているが、会場での試合観戦には至っていない者に対するはたらきかけ次第では、大分県のトップスポーツはさらなる盛り上がりを見せる可能性があるといえよう。

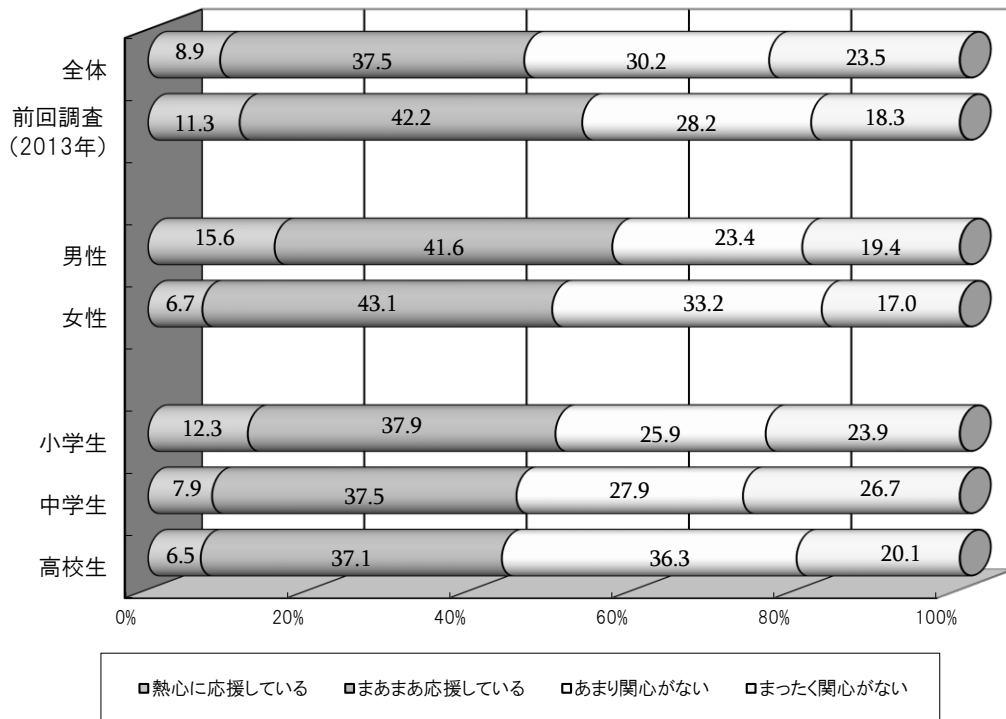


図 27 トップスポーツチームに対する応援度 (%)



#### 4) 「支えるスポーツ」に対する意識

スポーツにかかわるボランティア参加の状況を訊ねたところ、全体では「ある」16.0%、「ない」84.0%であった(図28)。前回調査(2013年)と比べると、参加したことがある者はわずかに減少している。

また、今後のボランティア活動への参加意向をみると、全体では「してみたい」58.5%、「したくない」41.5%であった(図29)。前回調査(2013年)においても同様の結果であることから、大分県の児童・生徒におけるスポーツにかかわるボランティア活動への意識は比較的高い水準で維持されていることがわかった。

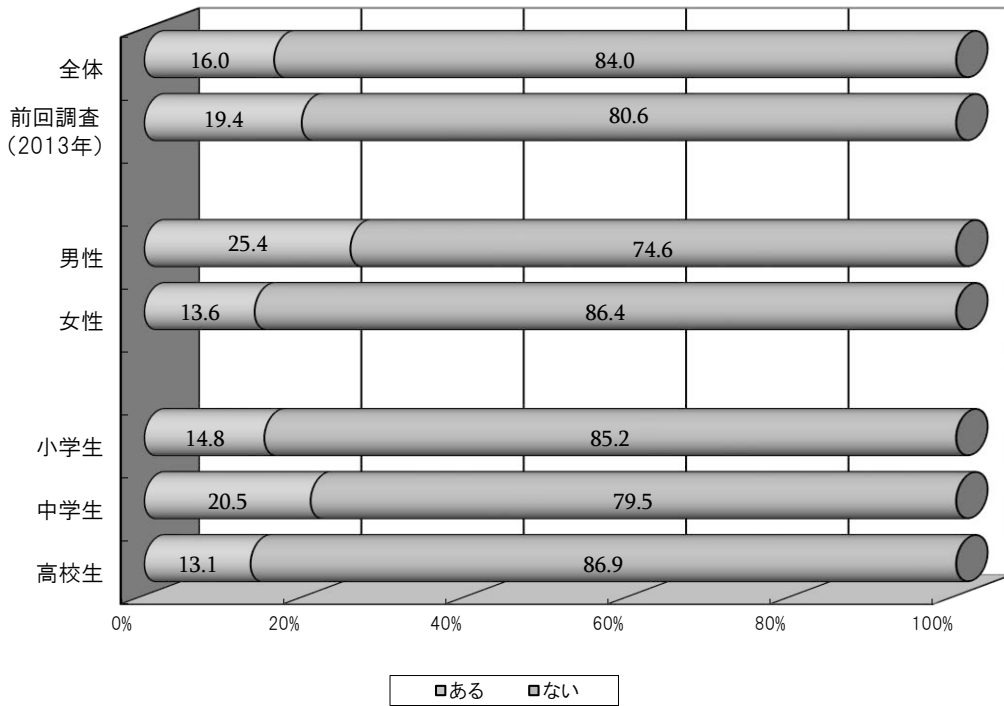


図28 スポーツにかかわるボランティア参加の状況 (%)

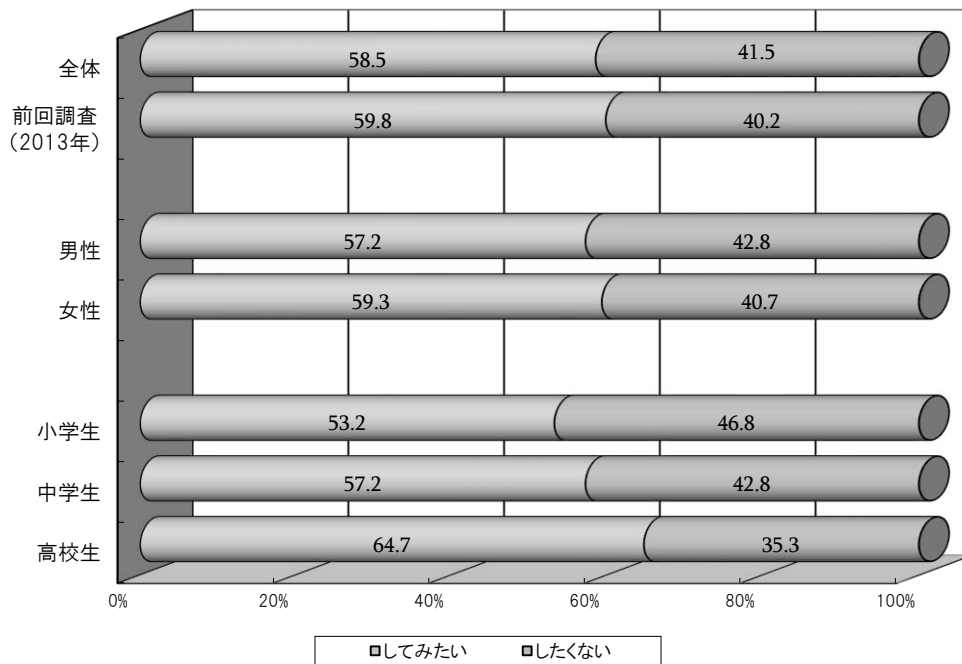


図29 今後のスポーツにかかわるボランティア参加意向 (%)



5) 総合型地域スポーツクラブに対する意識（認知度と加入意向）

成人調査同様、総合型地域スポーツクラブに対する認知度を訊ねた。

全体結果としては、「知っている」5.6%、「聞いたことがある」10.9%、「知らない」83.5%であった（図30）。

児童・生徒における総合型地域スポーツクラブの認知度は、前回調査（2013年）と比較すると、若干減少しており、成人層と比較しても依然として低い状況にある。

次に、「総合型地域スポーツクラブ」とは明確に記さず、「子どもから大人までと一緒にスポーツができ、好きなスポーツを何種目も自由に楽しくできるスポーツクラブがあったら入ってみたいですか」との質問項目を設定し、その加入意向について訊ねた。

全体結果としては、「ぜひ入りたい」21.7%、「良さそうであれば入りたい」35.6%、「たぶん入らない」30.7%、「わからない」11.2%、「その他」0.8%であった（図31）。

積極的な参加意向を示す「ぜひ入りたい」「良さそうであれば入りたい」と回答した者を合わせると6割弱となり、前回調査（2013年）の結果に比べ、減少傾向を示している。

学校種別にみると、特に「小学生」において高い数値を示している。総合型地域スポーツクラブの特徴である「子どもから大人まで」が、「好きなスポーツを自由に楽しく」活動できるスポーツクラブへの高い加入意向を示している児童・生徒を巻き込んでいくことにより、総合型地域スポーツクラブはさらなる発展が期待できるのではないだろうか。

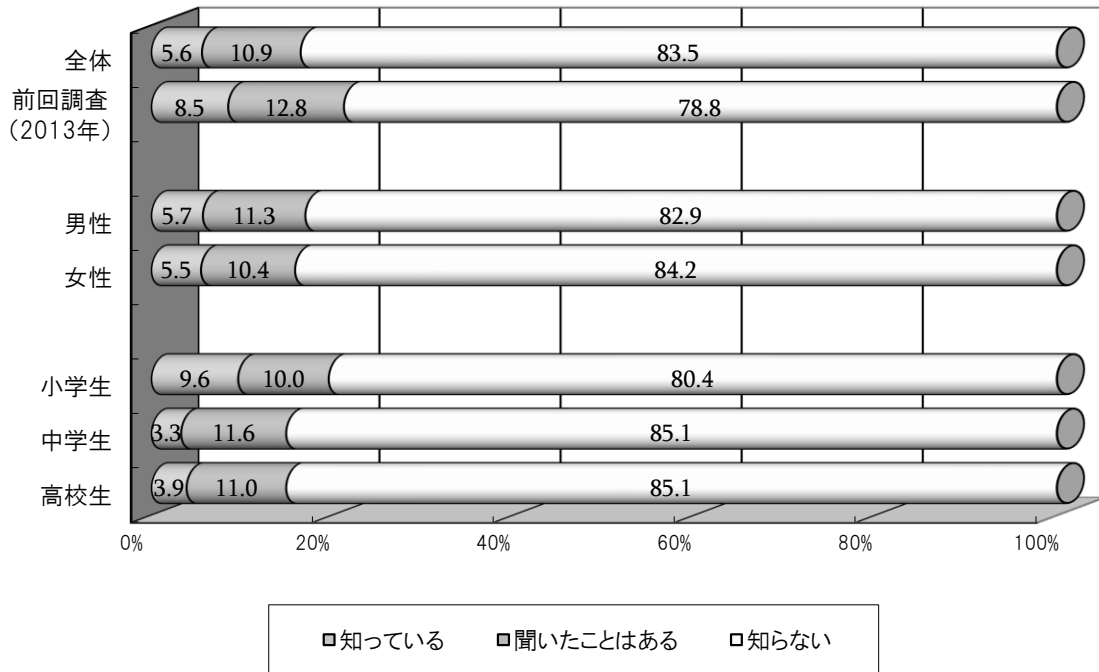


図 30 総合型地域スポーツクラブに対する認知度 (%)

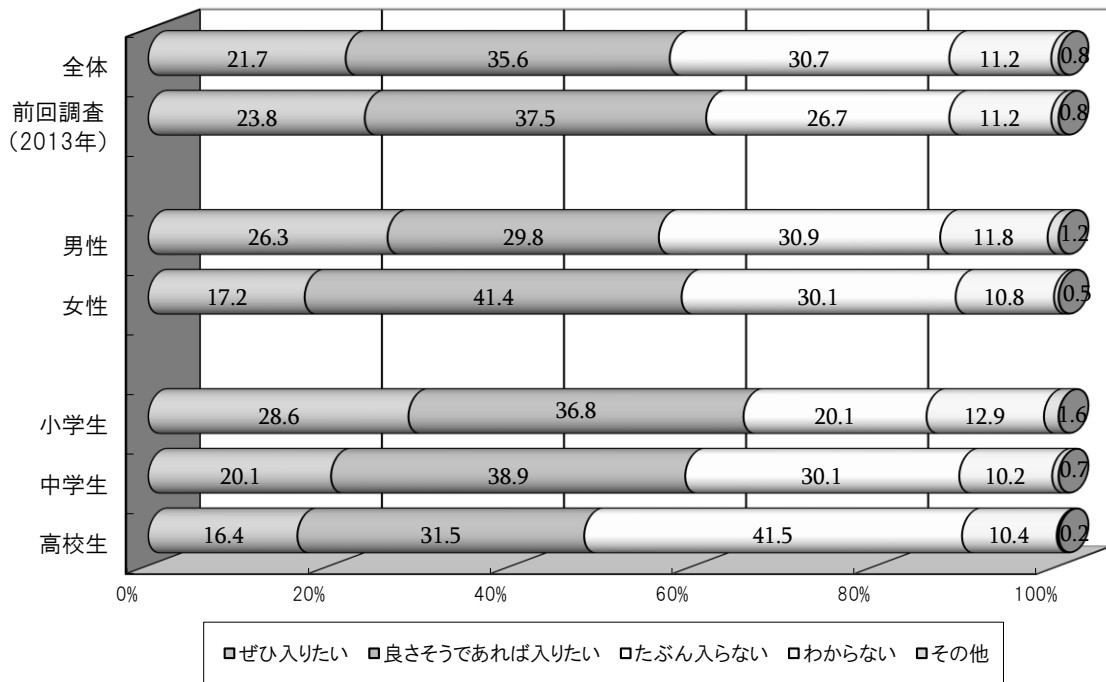


図 31 総合型地域スポーツクラブの特性を持ったクラブに対する加入意向 (%)

### 3 学校の体育と放課後の活動

ここでは、学校における体育授業に対する各種意識と、放課後のスポーツ活動に関する各種意識について報告する。

#### 1) 体育授業に対する好き嫌い

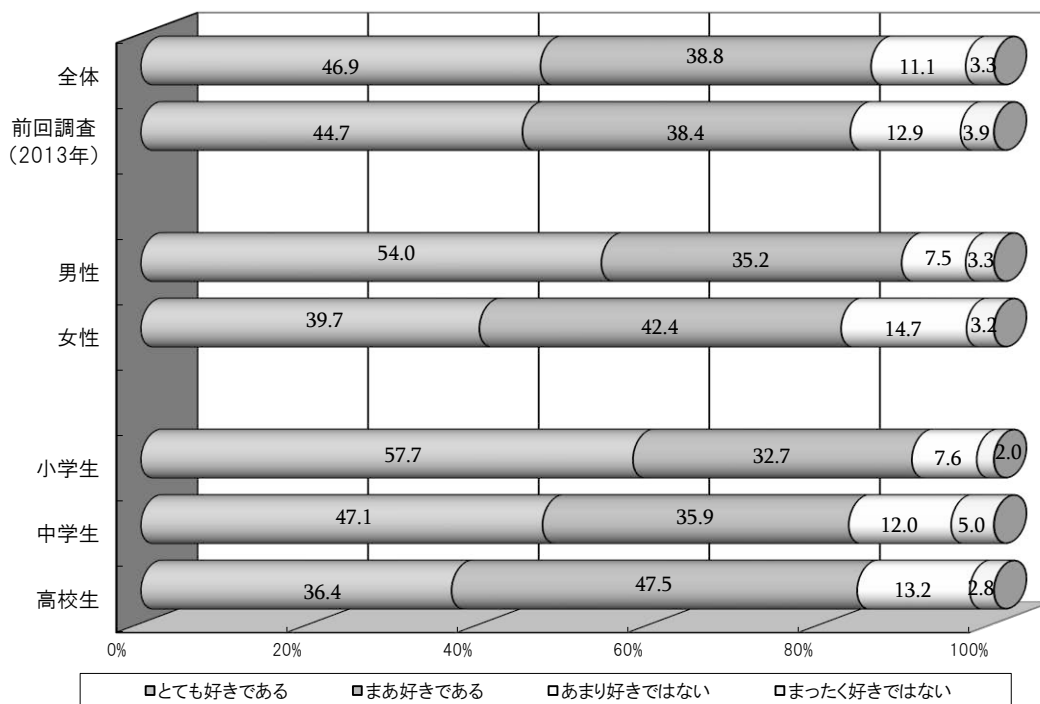


図 32 体育授業に対する好き嫌い (性別・年代別 %)



全体結果としては、「とても好きである」46.9%、「まあ好きである」38.8%と85.7%の児童・生徒が「体育授業は好きである」と回答している(図32)。前回調査(2013年)と同様の結果となった。  
 しかし、学校種別にみると、「とても好きである」の数値が「小学生」57.7%であるのに対し、「中学生」47.1%、高校生36.4%と、年齢の経過とともに低下傾向にあることが気にかかる点である。

## 2) 現在行っているスポーツ(活動)に対する意識

放課後の時間帯に、学校内・学校外を問わず、スポーツ活動を行っているとは回答した者に対する限定質問を行った。

まず、「現在行っているスポーツ活動は楽しいですか」と訊ねたところ、全体では「大変楽しい」62.3%、「まあまあ楽しい」32.9%、「あまり楽しくない」3.5%、「まったく楽しくない」1.3%であった(図33)。前回調査(2013年)と同様の傾向であった。

これを学校種別にみると、「大変楽しい」の割合が「小学生」70.2%で最も高く、次いで「高校生」62.1%、「中学生」57.5%となり、こちらも前回調査(2013年)と同様傾向を示した(前回調査:「小学生」76.2%、「中学生」56.9%、「高校生」63.6%)。すなわち、中学校期のスポーツ活動への参加や意識が気がかりな点といえよう。

つぎに、現在行っているスポーツの継続意向を訊ねた。全体では、「大人になってもずっと続けたい」44.1%、「卒業したら違う種目をやりたい」30.5%、「今すぐにでもやめて違う種目をやりたい」2.3%、「卒業したらスポーツはやらないと思う」23.1%であった(図34)。全体としては前回調査(2013年)と比べて大きな変化は見られない。しかしながら、性別では「男性」、学校種別では「小学生」において顕著に高い継続意向を示しており、「女性」や「中学生」「高校生」が安心して運動・スポーツ活動を続けられる環境づくりが課題となろう。

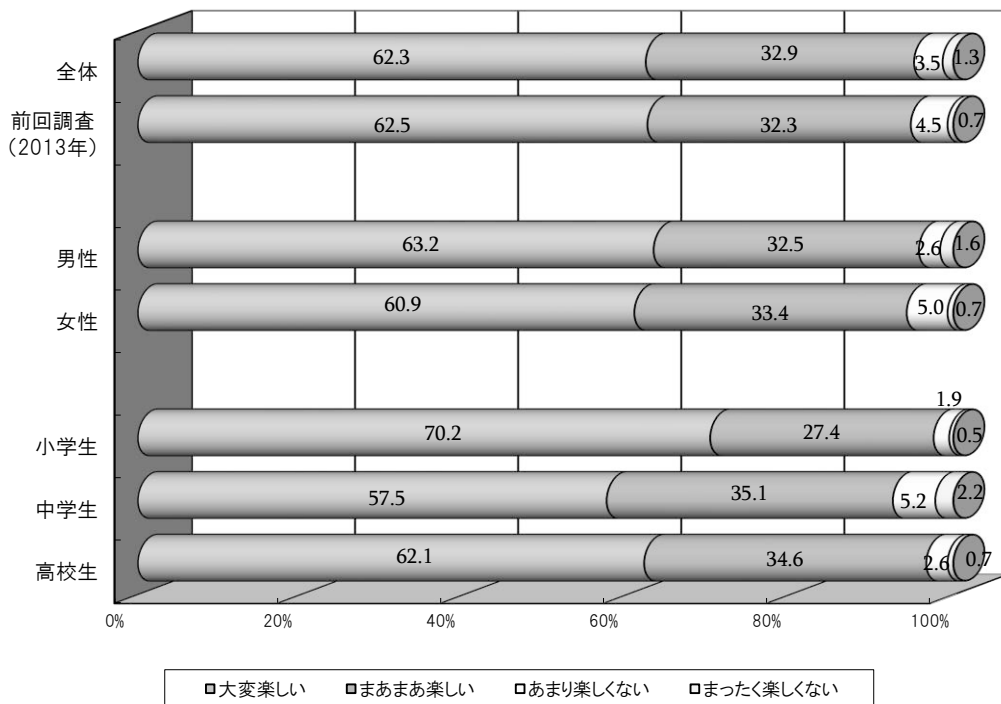


図33 現在行っているスポーツ活動に対する楽しさ(性別・年代別 %)



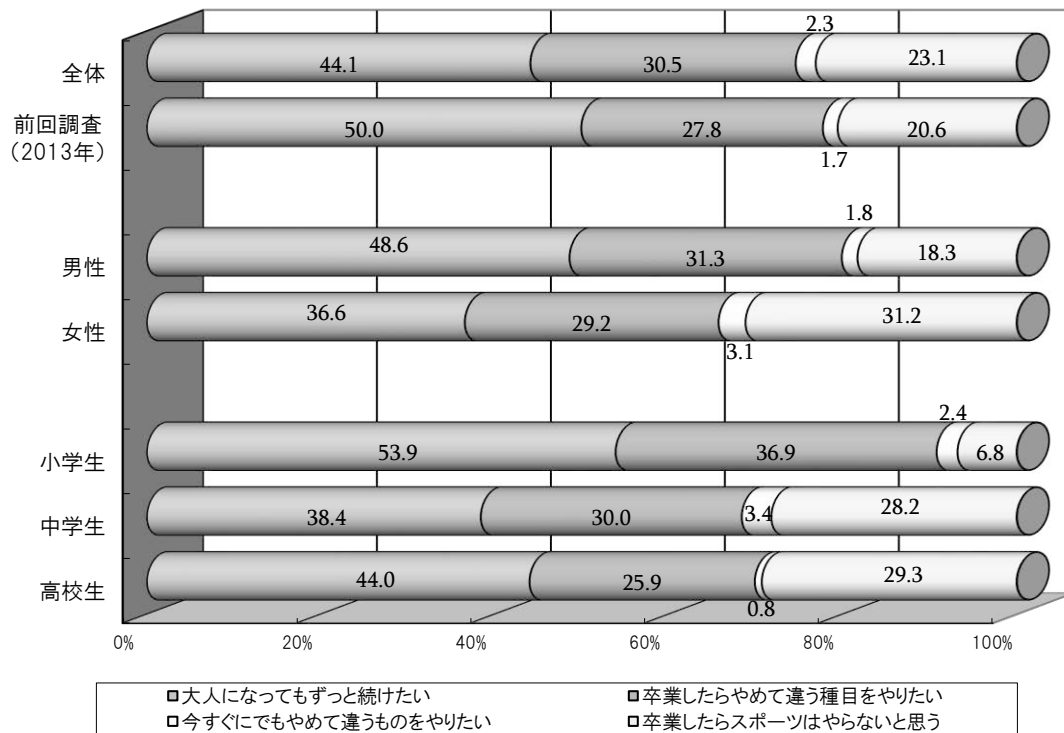


図 34 現在行っているスポーツの継続意向（性別・年代別 %）

### 3) 体力に対する評価

成人調査の結果でも触れているが、児童・生徒の体力評価の結果をみる。

全体結果としては、「おおいにある」10.9%、「まあまあある」41.4%であり、前回調査（2013年）と比較すると自己評価がやや高まっている傾向にある（図 35）

本質問項目結果においては、性別では「女性」で、学校種別では「中学生」に低い傾向が確認された。

今回調査では、児童・生徒にのみ、主観的な体力評価のみを訊ねていることから、今日の子どもを取り巻く体力低下傾向の真相を確認するには至っていない。この点については今後の継続調査課題として捉えておきたい。

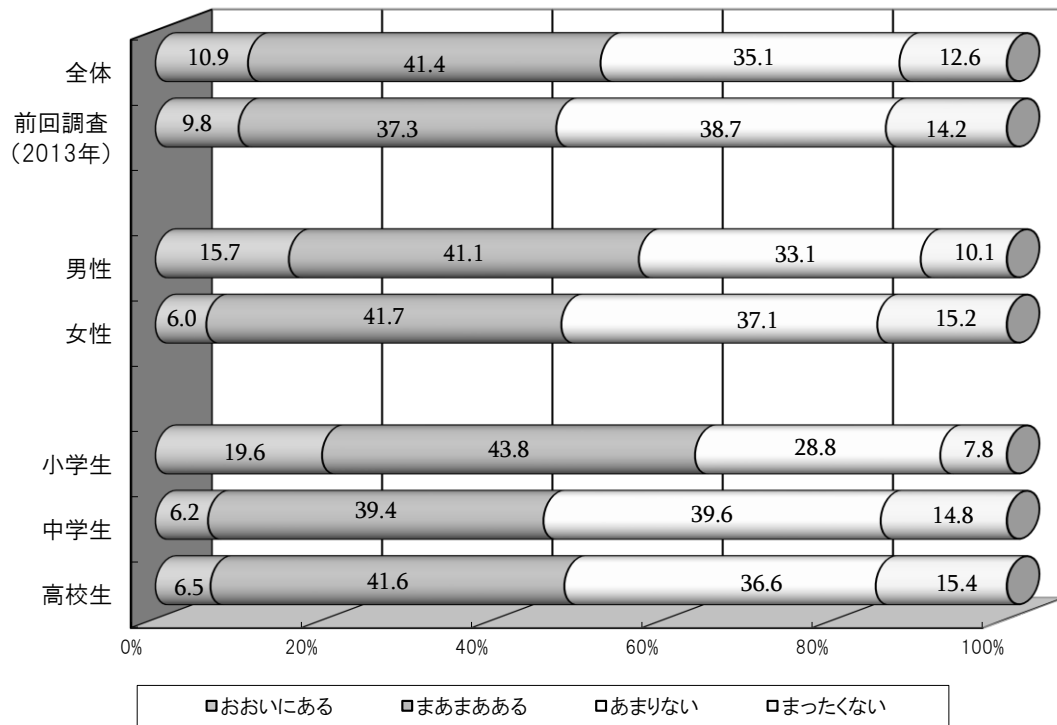


図 35 体力に対する自己評価 (性別・年代別 %)



#### 4 日常生活における各種意識

ここでは、「毎日の朝食摂取の状況」「外遊びの状況」を報告し、それらの回答傾向と前出の「体力に対する自己評価」との関連性について報告する。

##### 1) 朝食の摂取状況

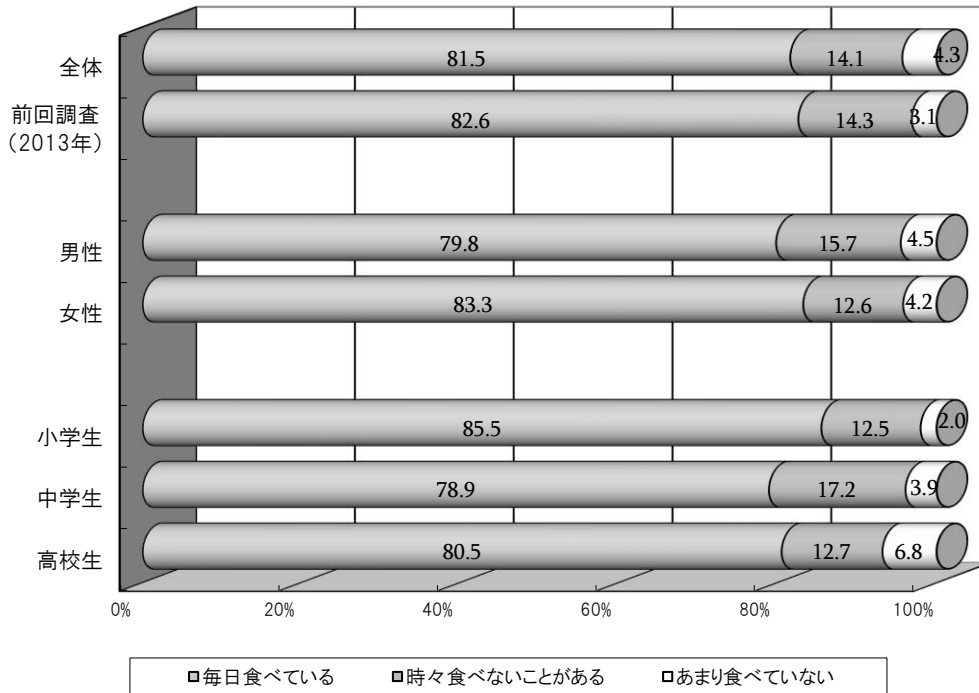


図 36 毎日の朝食摂取の状況 (%)

「毎日の朝食摂取の状況」を訊ねたところ、全体結果としては、「毎日食べている」81.5%、「時々食べないことがある」14.1%、「あまり食べていない」4.3%であった(図36)。前回調査と比較しても、全体的に大きな変化は見られない。

##### 2) 外遊びの状況

「外遊びの状況」については、小学生に対しては、「あなたは外で遊んでいますか」との質問を設け、中学生および高校生に対しては、「あなたは、小学生の頃、外で遊んでいましたか」との質問を設けた。つまり、小学生期における外遊びの状況を把握するための質問として設定されている。

全体結果では、「よく遊んでいる(いた)」67.0%、「時々遊んでいる(いた)」25.8%、「あまり遊んでいない」5.9%、「まったく遊んでいない」1.4%であった(図37)。

学校種別にみると、「高校生」77.4%、「中学生」64.7%、「小学生」58.4%と年代が低くなるにつれて外遊びの機会は減少傾向にあるといえる。前回調査(2013年)においても、外遊びの減少傾向は確認されており、その傾向は現在も続いていることが明らかになった。

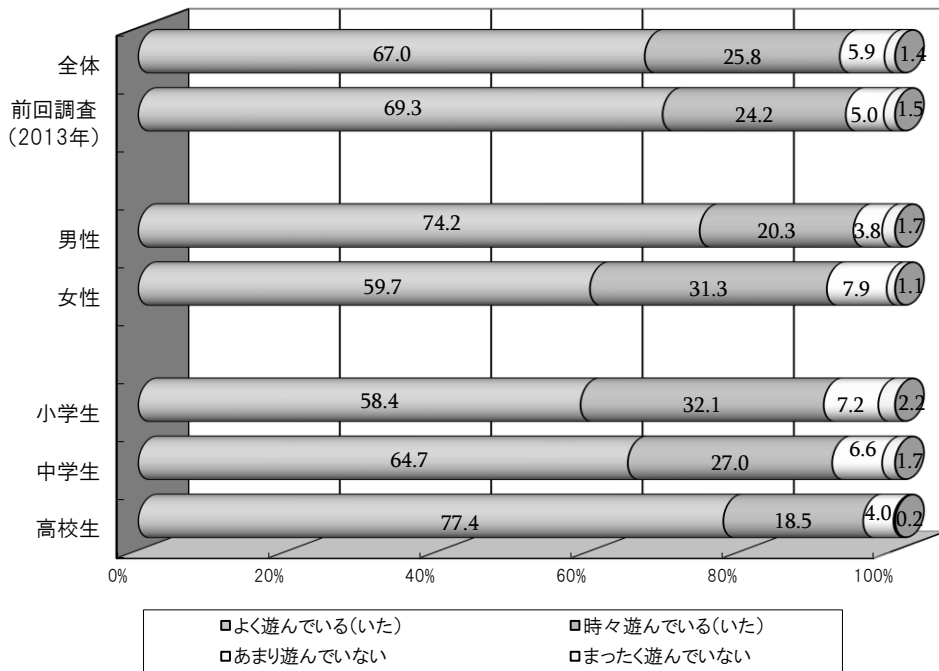


図 37 外遊びの状況 (%)

### 3) 朝食摂取・外遊びと体力の関連性

朝食摂取状況と体力に対する自己評価をクロス集計分析したところ、統計的に有意差を確認することになった。つまり、「毎日しっかり朝食を摂っている者ほど、体力に対する自己評価は高い」のである(図 38)。

外遊びと体力の関連性をみたところ、図 38 と同様、統計的に有意差を確認した(図 39)。

このことはつまり、「外でよく遊んでいる子どもたちほど、体力に対する自己評価は高い」ことを意味する。

さらに、朝食摂取状況と学校の勉強に対する好き嫌いの関連性をみたところ、前出の2つの図と同様、統計的に有意差を確認した(図 40)。つまり、「毎日しっかり朝食を摂っている者ほど、学校の勉強は好き」なのである。子どもたちの良好な生活習慣は、体力向上にとどまらず、学力にも関係が強いことを確認するものである。

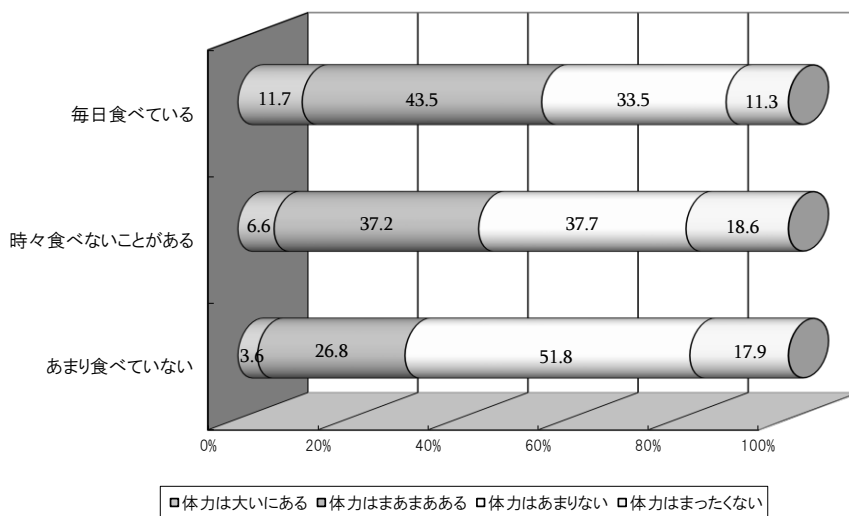


図 38 朝食摂取と体力の関連性 (% p<.001)

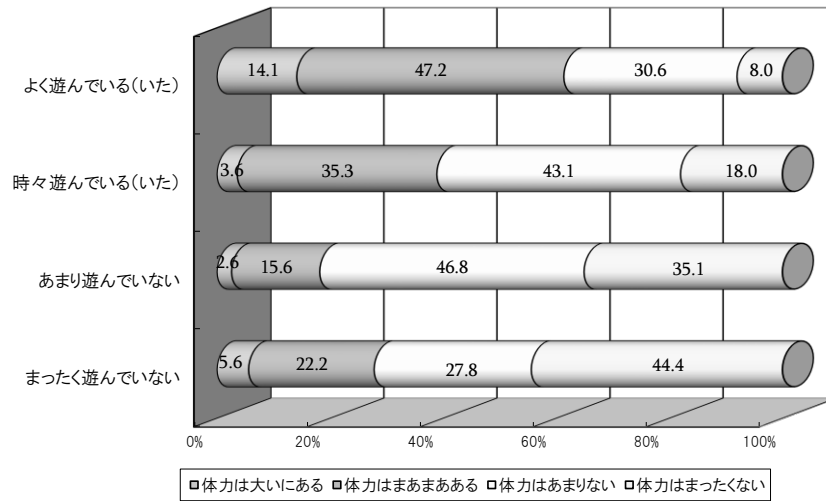


図 39 外遊びの状況と体力の関連性 (% p<.001)

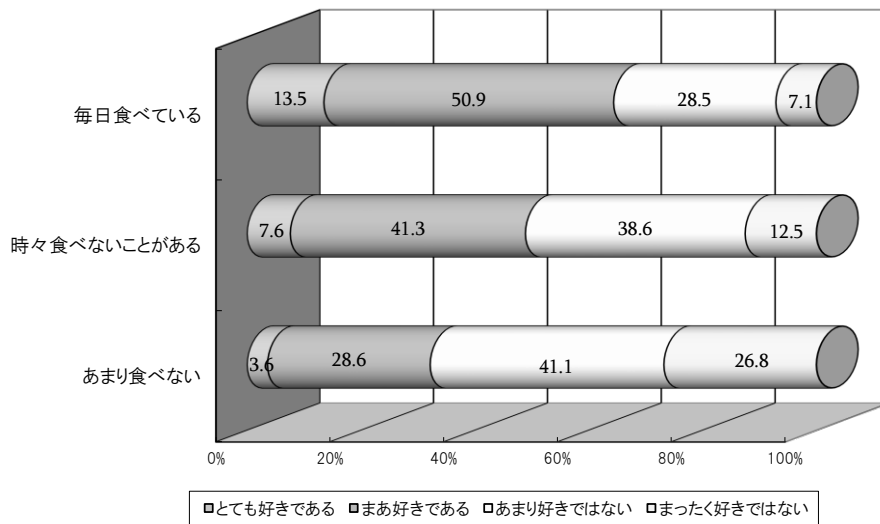


図 40 朝食摂取と勉強に対する好き嫌いの関連性 (% p<.001)

【謝辞】

今回の報告書作成にあたり、調査協力をいただいた県民の皆様方に対し深甚の謝意を表する次第である。

(参考資料)

- ・スポーツ庁：「令和元年度『スポーツの実施状況等に関する世論調査』」，令和2年2月
- ・大分県教育委員会：「県民スポーツに関する実態調査報告書」，平成25年10月



## Ⅶ 巻末資料(成人調査票と未成人調査票)

### 令和2(2020)年度県民のスポーツ実態に関するアンケート調査

#### (成人用)

##### <調査へのご協力のお願い>

大分県では、県民の皆様が自分のレベルにあわせてスポーツに親しみ、かかわりあい、楽しめるスポーツ環境づくり等を計画的に推進するため、平成21年度に「大分県スポーツ推進計画」を策定し、各種の取り組みを実践しています。

本年度が策定後、約10年目となることから、計画に掲げる各種施策を検証するとともに、今後の取組に反映するため、現在県民の皆様がスポーツに対してどのような意識を持っているのか、また、日頃どのようなスポーツを行っているのか等、無作為に抽出した6,000人の県民の皆様を対象にアンケート調査を行うことになりました。

ご回答いただきました結果は、すべて第三者により統計的に処理いたしますので、個人情報公表されることは決してございません。

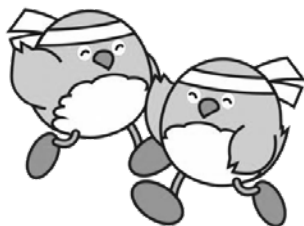
お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、本調査の主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

(企画) 大分県教育庁体育保健課

##### <ご記入にあたってのお願い>

- 回答は、郵送させていただいた宛名のご本人がご記入ください
- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。なお、該当するものすべてを選ぶようになっている場合には、該当番号にすべて○を付けてください。
- 回答が「その他」になった場合には、お手数ですが( )内に具体的な内容をご記入ください。
- ご記入がお済みになったらお手数ですがアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れて、6月24日(水)までにご返送願います。
- 記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

##### <調査についてのお問い合わせ>



大分県教育庁体育保健課生涯スポーツ班

(担当 笠木 敏行)

住 所: 〒870-8503 大分市府内町3-10-1

電 話: 097-506-5645





(8) あなたはスポーツを観る(観戦やテレビ視聴等)ことが好きですか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 大変好きである
2. どちらかといえば好きである
3. どちらかといえばきらいである
4. きらいである
5. どちらともいえない

(9) あなたは現在、民間のスポーツクラブやフィットネスクラブ、地域のスポーツクラブやレクリエーションサークルに入っていますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 加入している
2. 加入していないが、加入したいと思う
3. 現在は加入していないが、過去は加入していた
4. 加入しておらず、加入したいとは思わない

**質問(9)で1を選ばれた方にお聞きます**

(10) あなたが現在、加入しているスポーツ・レクリエーション団体はつぎのどれにあてはまりますか。あてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。

1. 民間のスポーツ・フィットネスクラブ
2. 総合型地域スポーツクラブ
3. 地域(地区)のサークル活動
4. その他( )

**この質問はすべての方にお聞きます。**

(11) あなたは運動やスポーツをこの1年間にどのくらいのペースでしていましたか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。(新型コロナウイルスの影響で、運動やスポーツ活動の制限がなされ始めて以降の時期は別として考えてください。)

1. 週に3日以上
2. 週に1~2日
3. 月に1~3日
4. 3ヶ月に1~2回
5. 年に1~2回
6. ほとんどしていない

**質問(11)で1~5を選ばれた方にお聞きます (6「ほとんどしていない」を選んだ方は(14)へ)**

(12) あなたが運動やスポーツをするとき、1回あたりの平均活動時間はどれくらいですか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 30分以内
2. 30分~1時間程度
3. 1時間~2時間程度
4. 2時間以上

**質問(11)で1~5を選ばれた方にお聞きます**

(13) あなたにとって、運動やスポーツの実施はどのような意味がありますか。あてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。

1. 健康・体力づくりのため
2. 楽しみや気晴らしのため
3. 家族とのふれあいのため
4. 友人・仲間との交流のため
5. 自己の記録や能力を向上させるため
6. 精神修養や訓練のため
7. 美容や肥満解消のため
8. 運動不足を感じるため
9. 自然とふれあうため
10. その他( )

**ここからはすべての方にお聞きます。**

(14) あなたはこれから先、運動やスポーツをどのくらいのペースでしたいと思っていますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 週に3日以上
2. 週に1~2日
3. 月に1~3日
4. 3ヶ月に1~2回
5. 年に1~2回
6. したいとは思わない





- (15) あなたが、これから実施してみたいと思う運動やスポーツを下記の 40 種目の中から、あてはまるものを **すべて** 選び番号を○で囲んでください。なお、あてはまる種目が一覧表にない場合には、「41 その他」を選択し、具体的な種目名をお書きください。

＜運動・スポーツ種目一覧 50音順＞

|               |                  |              |               |
|---------------|------------------|--------------|---------------|
| 1 ウォーキング      | 11 ゴルフ           | 21 相撲        | 31 なわとび       |
| 2 エアロビクス      | 12 サッカー          | 22 ソフトテニス    | 32 バスケットボール   |
| 3 カヌー         | 13 自転車(サイクリング含む) | 23 ソフトボール    | 33 バドミントン     |
| 4 空手道         | 14 柔道            | 24 体操(ラジオ体操) | 34 バレーボール     |
| 5 器械体操(新体操含む) | 15 乗馬            | 25 卓球        | 35 ハンドボール     |
| 6 キャンプ(野外活動)  | 16 ジョギング・ランニング   | 26 ダンス       | 36 フットサル      |
| 7 弓道          | 17 水泳            | 27 釣り        | 37 ボウリング      |
| 8 グラウンドゴルフ    | 18 スキー           | 28 テニス       | 38 野球         |
| 9 ゲートボール      | 19 スケート          | 29 登山        | 39 ラグビーフットボール |
| 10 剣道         | 20 スノーボード        | 30 ドッジボール    | 40 陸上競技       |
|               |                  |              | 41 その他<br>( ) |

- (16) あなたが運動やスポーツを実施する際に、困っていることや妨げになっていること、あるいは実施できない理由をお聞かせください。以下の1～18までの項目について、あてはまるものを **すべて** 選び番号を○で囲んでください。

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 勤務時間が長い               | 2. 通勤時間が長い            |
| 3. 休暇がない                 | 4. 家事が忙しい             |
| 5. 子どもがいる(育児に忙しい)        | 6. 世話を必要とする人がいる       |
| 7. スポーツクラブの会費(入会金等)が高い   | 8. 用具にお金がかかる          |
| 9. 施設を利用するのにお金がかかる       | 10. 一緒に行く仲間がいない       |
| 11. 身近に施設がない             | 12. 下手である(運動技術が劣っている) |
| 13. 運動すると疲れる             | 14. 指導者がいない           |
| 15. 運動・スポーツに関する情報が不足している | 16. 運動・スポーツするのが面倒である  |
| 17. 年をとっている              | 18. 他の趣味が忙しい          |
| 19. その他 ( )              |                       |

### Ⅲ あなたのスポーツに対する意識についてお聞きます

- (17) あなたは運動やスポーツに関するどのような情報が欲しいと思っていますか。以下の項目について、あてはまるものを **すべて** 選び番号を○で囲んでください。

- |                       |                            |
|-----------------------|----------------------------|
| 1. スポーツ行事やスポーツイベントの情報 | 2. 自分が参加できるスポーツ競技会の情報      |
| 3. 各種スポーツ教室の案内        | 4. スポーツ施設の案内               |
| 5. 各種スポーツ指導者の紹介       | 6. 新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報 |
| 7. クラブ同好会などの活動案内      | 8. 健康・体力づくりなどの情報           |
| 9. スポーツに関する医学的・科学的な情報 | 10. その他 ( )                |

- (18) あなたは運動やスポーツに関する情報をどこから得ていますか。あてはまるものを **すべて** 選び番号を○で囲んでください。

- |                         |             |             |            |            |
|-------------------------|-------------|-------------|------------|------------|
| 1. 市町村の広報               | 2. 新聞・雑誌    | 3. 自治会の回覧   | 4. 専門誌     | 5. 知人や友人から |
| 6. テレビ・ラジオ              | 7. クラブや同好会  | 8. 職場や施設の仲間 | 9. インターネット |            |
| 10. SNS(ツイッター、フェイスブック等) | 11. その他 ( ) |             |            |            |



(19) あなたは大分のスポーツをもっと盛んにするために、以下の各事柄に対してどの程度「重要性」を感じますか。各事柄に対して重要性を感じる程度を「4 大変重要だと思う」～「1 まったく重要とは思わない」の中から一つ選び番号を○で囲んでください。

|                            | 大変重要<br>だと思う | まあ重要<br>だと思う | あまり重要<br>とは思わない | まったく重要<br>とは思わない |
|----------------------------|--------------|--------------|-----------------|------------------|
| ① 地域で身近に利用できるスポーツ施設の整備     | 4            | 3            | 2               | 1                |
| ② 地域にスポーツのリーダーや指導者の配置      | 4            | 3            | 2               | 1                |
| ③ 健康に関する教室や講演会の開催          | 4            | 3            | 2               | 1                |
| ④ 中学校の運動部活動の充実             | 4            | 3            | 2               | 1                |
| ⑤ 高等学校の運動部活動の充実            | 4            | 3            | 2               | 1                |
| ⑥ 学校の先生以外の指導者が運動部活動の指導にあたる | 4            | 3            | 2               | 1                |
| ⑦ 小学校への体育専門教師の配置           | 4            | 3            | 2               | 1                |
| ⑧ 気軽にスポーツが行える地域のスポーツクラブづくり | 4            | 3            | 2               | 1                |
| ⑨ 競技力向上のため、優れた指導者の養成や選手育成  | 4            | 3            | 2               | 1                |
| ⑩ スポーツ情報の提供                | 4            | 3            | 2               | 1                |
| ⑪ 国際的なスポーツイベントの積極的誘致       | 4            | 3            | 2               | 1                |
| ⑫ 国民体育大会での総合成績の向上          | 4            | 3            | 2               | 1                |
| ⑬ プロスポーツに対する経済的支援          | 4            | 3            | 2               | 1                |
| ◆その他重要と思われる内容があればご記入ください   | ( )          |              |                 |                  |

(20) あなたは、この1年間に大分県内で活動しているスポーツチーム（大分トリニータ、バサジィ大分、大分三好ヴァイセアドラー）の試合を会場で観戦しましたか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

- 1. 観戦した
- 2. 観戦していない

**質問(20)で1の「観戦した」を選ばれた方にお聞きます。**

(21) あなたが観戦した試合をすべて選び番号を○で囲んでください。

- 1. 大分トリニータの試合
- 2. バサジィ大分の試合
- 3. 大分三好ヴァイセアドラーの試合

**ここからはすべての方にお聞きます。**

(22) あなたは、大分県内で活動しているスポーツチーム（大分トリニータ、バサジィ大分、大分三好ヴァイセアドラー）に対する応援の気持ちはどの程度ですか。あてはまるものを一つ選び、番号を○で囲んでください。

- 1. 熱心に応援している
- 2. まあまあ応援している
- 3. あまり関心がない
- 4. まったく関心がない

(23) あなたが、応援しているチームをすべて選び番号を○で囲んでください。

- 1. 大分トリニータの試合
- 2. バサジィ大分の試合
- 3. 大分三好ヴァイセアドラーの試合

(24) あなたは、この1年間に障がい者のスポーツ大会（競技）を会場で観戦しましたか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

- 1. 観戦した
- 2. 観戦していない

(25) 昨年（2019年）、大分県ではラグビーワールドカップの試合が5試合開催されました。日本代表のベスト8進出もあって大変盛り上がった大会でしたが、あなたは、どのような感想をもたれましたか。あてはまるものを一つ選び、番号を○で囲んでください。

- 1. 感動したし印象に残っている
- 2. あまり関心がなかったし印象にも残っていない

(26) 来年、2021年には、東京でオリンピック・パラリンピック大会が開催されます。あなたは、どの程度の期待感をもっていますか。あてはまるものを一つ選び、番号を○で囲んでください。

- 1. 大変期待している
- 2. まあまあ期待している
- 3. あまり期待していない
- 4. まったく期待していない



(27) あなたは、この1年間に何らかのスポーツにかかわるボランティア活動をしたことがありますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. ある
2. ない

**質問(27)で1の「ある」を選ばれた方にお聞きます。**

(28) あなたは、スポーツにかかわるボランティア活動として、どのようなものをしましたか。以下の項目について、あてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。

1. スポーツの指導・コーチ
2. クラブやスポーツ団体の運営や活動の手伝い(クラブ役員、世話役、運搬・運転など)
3. スポーツ施設の管理の手伝い(清掃、用具の準備・後片付け、車の誘導など)
4. 大会やイベントなどにおいて専門的な立場からの支援(審判員、データ処理、通訳など)
5. 大会やイベントなどでの一般的な支援(受付・案内、記録・掲示、接待、運搬・運転など)
6. 障がい者のスポーツ活動に対する支援
7. その他( )

(29) あなたの、スポーツにかかわるボランティア活動における報酬の考え方を答えてください。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 活動(時間・内容等)に見合う報酬を受けるべきだと思う
2. 活動場所への往復にかかる交通費等の負担した経費について受けるべきだと思う
3. 報酬は必要ない(ボランティアウェア、記念品等の支給で十分)
4. その他( )

**ここからはすべての方にお聞きます。**

(30) あなたは、これからスポーツにかかわるボランティア活動をしてみたいですか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. してみたい
2. 機会があればしてみたい
3. したくない(関心がない)

(31) あなたは、大分県の競技力向上のためには、どのような環境(施設やシステム等)を整えることが必要だと思いますか。以下の中から必要だと感じるものをすべて選び番号を○で囲んでください。

1. 充実したスポーツ施設の整備
2. 優秀な指導者の育成
3. トップアスリートを育成するプログラムの開発
4. スポーツの医学的研究施設の充実
5. ジュニア期(子ども期)からの一貫指導体制
6. 選手への財政的な支援活動
7. その他( )

**IV あなたの住んでいる地域のスポーツ事情についてお聞きます**

(32) あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 知っている
2. 聞いたことはある
3. 知らない

● **総合型地域スポーツクラブとは**

「総合型地域スポーツクラブ」とは、中学校区程度の地域において、地域住民が主体的に運営するスポーツクラブで、学校体育施設や公共スポーツ施設を拠点としながら、地域住民の誰もが参加できるスポーツクラブを指します。その特徴は、複数のスポーツ種目が用意されて、子どもから高齢者まで、また、初心者からトップレベルの競技者まで、地域の誰もが年齢、関心・興味、技能・技術レベルに応じていつでも活動できます。

なお、県内では現在全市町村で、44の総合型地域スポーツクラブが活動しています。



(33) あなたの住んでいる地域（中学校区程度）には「総合型地域スポーツクラブ」がありますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. ある      2. ない      3. わからない

**質問(33)で1を選ばれた方にお聞きます。**

(34) あなたの地域にある「総合型地域スポーツクラブ」に対する評価（活動状況）は、以下のどれにあてはまりますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 盛んに活動していると思う      2. 盛んに活動しているとは思えない      3. よくわからない

(35) あなたの地域にある「総合型地域スポーツクラブ」に対する評価（地域貢献の状況）は、以下のどれにあてはまりますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 地域にとって大切なものになりつつある      2. まだ地域にとって大切なものにはなっていない  
3. よくわからない

**質問(33)で2、3を選ばれた方にお聞きます。**

(36) あなたは、自分が住んでいる地域に「総合型地域スポーツクラブ」ができてほしいですか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. できてほしい      2. できなくてもよい      3. よくわからない

(37) あなたは、自分が住んでいる地域に「総合型地域スポーツクラブ」があれば運営に協力しますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. ぜひ協力したい      2. 自分にできることがあれば協力したい  
3. あまり協力したくない      4. よくわからない

**ここからはすべての方にお聞きます。**

(38) あなたの住んでいる地域（中学校区程度）のここ数年間の変化として、あなた自身が感じているものをすべて選び、番号を○で囲んでください。

1. 地域住民間の交流が活性化してきた      2. 世代を超えた交流機会が生まれてきた  
3. 地域の連帯感が強まってきた      4. 地域が活性化してきた  
5. 地域で子どもたちの成長を見守る気運が高まってきた  
6. 元気な高齢者が増えてきた      7. 子どもたちが明るく活発になってきた  
8. 地域住民のスポーツ参加機会が増えてきた      9. 特に変化は感じない

(39) あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」の会員になりたいと思いますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. すでにクラブ会員であり継続したいと思う  
2. 身近にそういったクラブがあればぜひ会員になりたい  
3. 身近にそういったクラブができ、良さそうであれば会員になりたい  
4. たぶん会員にはならないと思う  
5. わからない



(40)「総合型地域スポーツクラブ」は、あなたが住んでいる地区・地域の「体育協会」と連携しながら運営されているケースがほとんどです。あなたは、住んでいる地区・地域のスポーツ活動をもっと活発にするためには、どのような取り組みが必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。

1. 運動やスポーツをすることで新しい仲間ができるような雰囲気
2. 専門的・親身になってくれる指導者がいること
3. 健康づくり(維持増進)のためのプログラムが用意されていること
4. 専門的(競技として)に行えるプログラムが用意されていること
5. 託児所が備えてあること
6. 会費が安いこと
7. やりたい種目を選択し体験できること
8. 活動の情報が手軽に入手できること
9. 初心者や家族でも参加しやすいこと
10. スポーツだけではなく他の文化的活動も並行して楽しむことができること
11. シャワーやサウナ、談話室、レストランなどがあること
12. その他 ( )

#### V 日常生活に対する満足度やスポーツの意義・効果についてお聞きします

(41) 現在の生活に全体としてどの程度満足していますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 満足
2. まあ満足
3. どちらでもない
4. やや不満
5. 不満

(42) 現在、あなたは幸福だと思いますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. はい
2. まあまあ思う
3. どちらでもない
4. 思わない

(43) 「いきいきと生きているな」と感じることはありませんか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. ある
2. ときどきある
3. あまりない
4. ない

(44) あなたは、いま住んでいる地域に対して愛着がありますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. ある
2. まあまあある
3. あまりない
4. ない

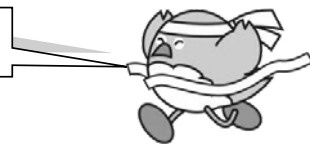
(45) あなたは、幼児から高校生までの子どもたちがもっとスポーツをやるべきだと思いますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 強くそう思う
2. まあまあそう思う
3. あまり思わない
4. まったく思わない

(46) あなたは、子どもたちが運動やスポーツをすることによって何が得られると思われませんか。以下のなかからあてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。

1. その運動・スポーツがうまくなる
2. 体を動かすことが楽しいと思えるようになる
3. まわりの人の気持ちがわかるようになる
4. 友だちがたくさんできるようになる
5. 礼儀が身につくようになる
6. 相手の話をしっかり聞けるようになる
7. 状況に応じた考え方ができるようになる
8. がまん強い気持ちを育てることになる
9. 家族のなかでの会話が増えることになる
10. 物事に対する集中力が高まる
11. 病気にかかりにくい丈夫なからだになる
12. 進学・就職しやすくなる
13. その他 ( )

これで質問は終わりです。御協力ありがとうございました。





## 令和 2(2020)年度県民のスポーツ実態に関するアンケート調査

### ( 小学校 5 年生用 )

#### <調査へのお願い>

大分県では、県民のみなさんが、自分のレベルにあわせてスポーツに親しみ、かかわりあい、楽しめるしくみづくりなどを計画的に進めるため、平成 21 年度に「大分県スポーツ推進計画」を策定しました。

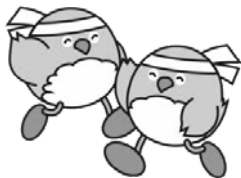
本年度が策定後、約 10 年目となることから、計画の内容を検証するとともに、今後の取組に反映するため、現在県民のみなさんがスポーツに対してどのような意識を持っているのか、日頃どのようなスポーツをしているのかなど、子どもから大人までの 6,000 人の皆さんを対象にアンケート調査をすることになりました。

答えてもらったアンケートの集計と分析は、専門の人たちがしますので、答えた人がわかったりすることは絶対にありません。

これからの大分県のスポーツが良くなることを目的としたアンケートです。日頃感じていること、考えていることを答えてください。

#### <アンケートに答えるときのお願い>

- アンケートは、あなた自身が答えてください（おうちの人に相談してもよいです）。
- アンケートは、あてはまる番号を○でかこんでもらう質問が多いです。しかし、「あてはまるものすべてを選ぶ」ようになっている場合もあります。そのときは、あてはまるものすべてに○を付けてください（質問をよく読んでください）。
- 質問には、直接書いてもらうものもあります。そのときは（ ）内に書いてください。
- 答え終わったアンケートは、6月19日（金）までに学校の先生に提出してください。
- どうしてもわからない（わかりにくい）質問があったときは、学校の先生にたずねるか、下の電話番号に問い合わせてください。



#### <調査についてのお問い合わせ>

大分県教育庁体育保健課生涯スポーツ班（担当：笠木敏行）  
住所 〒870-8503 大分市府内町 3-10-1  
電話：097-506-5645



## I あなたのことについて教えてください

- (1) あなたの性別は、あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. 男
  2. 女
- (2) あなたが住んでいる市町村を一つ選び、番号を○でかこんでください。
1. 大分市
  2. 別府市
  3. 中津市
  4. 日田市
  5. 佐伯市
  6. 臼杵市
  7. 津久見市
  8. 竹田市
  9. 豊後高田市
  10. 杵築市
  11. 宇佐市
  12. 豊後大野市
  13. 由布市
  14. 国東市
  15. 姫島村
  16. 日出町
  17. 九重町
  18. 玖珠町
- (3) あなたの通っている学校名を教えてください・・・( 小学校)。

## II 運動やスポーツのことについてお聞きます

- (4) あなたは、運動やスポーツが好きですか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. 自分でするのも見るのも好き
  2. どちらかといえば自分でする方が好き
  3. どちらかといえば見る方が好き
  4. するのも見るのもきらい
  5. どちらともいえない

### ● 質問(4)で「1」「2」に○を付けた人だけ教えてください。

- (5) あなたが、運動やスポーツが好きで理由として、あてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。
1. うまくなったときの喜び
  2. ゲームに勝ったときの喜び
  3. 先生にほめてもらえる(もらえた)から
  4. 家族からほめてもらえる(もらえた)から
  5. からだが丈夫になるから
  6. 友達が増えるから
  7. ストレスの解消になるから
  8. 目立てるから
  9. その他( )

### ● 質問(4)で「4」に○を付けた人だけ教えてください。

- (6) あなたが、運動やスポーツが好きでない理由として、あてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。
1. うまくできないから
  2. 競争することが好きではないから
  3. 先生におこられたことがあるから
  4. 家族からあまり進められてこなかったから
  5. からだが丈夫ではないから
  6. 仲間を作ることが苦手だから
  7. はじをかきたくないから
  8. 汗をかきたくないから
  9. 指導者(先生)がこわいから
  10. 他に好きなことがあるから
  11. その他( )

### ● 質問(4)で「4」に○を付けた人だけ教えてください。

- (7) あなたは、いつごろから運動やスポーツを好きではなくなりましたか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. 小学校入学前
  2. 小学校低学年の頃
  3. 小学校高学年になってから









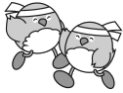


#### IV 日常生活で感じていることなどについてお聞きします

- (31) あなたは、住んでいるところ(市町村)のことが好きですか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. 好き
  2. まあまあ好き
  3. きれい
- (32) あなたは、毎日朝ごはんを食べていますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. 毎日食べている
  2. ときどき食べないことがある
  3. あまり食べない
- (33) あなたは、外で遊んでいますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。(新型コロナウイルスの影響で、学校が臨時休業だった間は別として考えてください。)
1. よく遊んでいる
  2. ときどき遊んでいる
  3. あまり遊んでいない
  4. まったく遊んでいない
- (34) あなたは、運動・スポーツをすることにはどのような意味があると思いますか。以下のなかからあてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。
1. その運動・スポーツがうまくなる
  2. 体を動かすことが楽しいと思えるようになる
  3. まわりの人の気持ちがわかるようになる
  4. 友だちがたくさんできるようになる
  5. 礼儀が身につくようになる
  6. 相手の話をしっかり聞けるようになる
  7. 状況に応じた考え方ができるようになる
  8. がまん強い気持ちを育てることになる
  9. 家族のなかでの会話が増えることになる
  10. 物事に対する集中力が高まる
  11. 病気にかかりにくい丈夫なからだになる
  12. 進学・就職しやすくなる
  13. その他 ( )
- (35) 現在の生活に全体としてどの程度満足していますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. 満足
  2. まあ満足
  3. どちらでもない
  4. やや不満
  5. 不満
- (36) 現在、あなたは幸福だと思いますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. はい
  2. まあまあ思う
  3. どちらでもない
  4. 思わない
- (37) 「いきいきと生きているな」と感じることはありませんか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. ある
  2. ときどきある
  3. ない

これで質問は終わりです。ありがとうございました。





## 令和 2(2020)年度県民のスポーツ実態に関するアンケート調査

( 中学 2 年生用 )

### <調査へのお願い>

大分県では、県民のみなさんが、自分のレベルにあわせてスポーツに親しみ、かかわりあい、楽しめる環境づくりなどを計画的に進めるため、平成 21 年度に「大分県スポーツ推進計画」を策定しました。

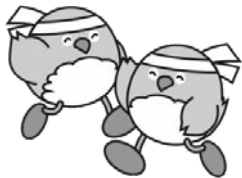
本年度が策定後約 10 年となることから、計画に掲げる各種施策を検証するとともに、今後の取組に反映するため、現在県民のみなさんがスポーツに対してどのような意識を持っているのか、また、日頃どのようなスポーツを行っているのかなど、子どもから大人までの 6,000 人の皆さんを対象にアンケート調査を行うことになりました。

答えてもらったアンケートの集計と分析は、専門の機関が行いますので、答えた人がわかったりすることは絶対にありません。

これからの大分県のスポーツが良くなることを目的としたアンケートです。日頃感じていること、考えていることを答えてください。

### <アンケートに答えるときのお願い>

- アンケートは、あなた自身が答えてください。
- アンケートは、あてはまる番号を○で囲んでもらう質問が多いです。しかし、「あてはまるものすべてを選ぶ」ようになっている場合もあります。そのときはあてはまるものすべてに○を付けてください(質問をよく読んでください)。
- 質問には、直接書いてもらうものもあります。そのときは( )内に書いてください。
- 答え終わったアンケートは、6月19日(金)までに学校の先生に提出してください。
- どうしてもわからない(わかりにくい)質問があったときは、学校の先生にたずねるか、下の電話番号に問い合わせてください。



### <調査についてのお問い合わせ>

大分県教育庁体育保健課生涯スポーツ班(担当:笠木敏行)  
住所 〒870-8503 大分市府内町3-10-1  
電話:097-506-5645









(23) あなたは、学校の勉強が好きですか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. とても好きである 2. まあ好きである 3. あまり好きではない 4. まったく好きではない

#### **IV あなたのスポーツに対する関心度についてお聞きします**

(24) あなたは、この1年間に大分県内で活動しているスポーツチーム（大分トリニータ、バサジィ大分、大分三好ヴァイセアドラー）の試合を会場で観戦しましたか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 観戦した 2. 観戦していない

**質問(24)で1の「観戦した」を選んだ人だけ答えてください。**

(25) あなたが観戦した試合をすべて選び番号を○で囲んでください。

1. 大分トリニータの試合 2. バサジィ大分の試合 3. 大分三好ヴァイセアドラーの試合

**【ここからは全員答えてください】**

(26) あなたは、大分県内で活動しているスポーツチーム（大分トリニータ、バサジィ大分、大分三好ヴァイセアドラー）に対する応援の気持ちはどの程度ですか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 熱心に応援している 2. まあまあ応援している 3. あまり関心がない 4. まったく関心がない

(27) あなたが、応援しているチームをすべて選び番号を○で囲んでください。

1. 大分トリニータの試合 2. バサジィ大分の試合 3. 大分三好ヴァイセアドラーの試合

(28) あなたは、この1年間に障がい者のスポーツ大会（競技）を会場で観戦しましたか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 観戦した 2. 観戦していない

(29) あなたは、子どもから大人までがいっしょにスポーツができ、好きなスポーツを何種目も自由に楽しくできるスポーツクラブがあったら入ってみたいですか。あなたの気持ちとして、あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 身近にそういったクラブがあればぜひ入りたい  
2. 身近にそういったクラブができ、良さそうであれば入りたい  
3. たぶん入らないと思う  
4. わからない 5. その他( )

(30) あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 知っている  
2. 聞いたことはある  
3. 知らない





#### IV 日常生活で感じていることなどについてお聞きします

- (31) あなたは、住んでいるところ(市町村)が好きですか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. 好き
  2. まあまあ好き
  3. きらい
- (32) あなたは、毎日朝ごはんを食べていますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. 毎日食べている
  2. ときどき食べないことがある
  3. あまり食べない
- (33) あなたは、小学校の頃、外で遊んでいましたか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. よく遊んでいた
  2. ときどき遊んでいた
  3. あまり遊んでいない
  4. まったく遊んでいない
- (34) あなたは、運動・スポーツをすることにはどのような意味があると思いますか。以下のなかからあてはまるものをすべて選び番号を○で囲んでください。
1. その運動・スポーツがうまくなる
  2. 体を動かすことが楽しいと思えるようになる
  3. まわりの人の気持ちがわかるようになる
  4. 友だちがたくさんできるようになる
  5. 礼儀が身につくようになる
  6. 相手の話をしっかり聞けるようになる
  7. 状況に応じた考え方ができるようになる
  8. がまん強い気持ちを育てることになる
  9. 家族のなかでの会話が増えることになる
  10. 物事に対する集中力が高まる
  11. 病気にかかりにくい丈夫なからだになる
  12. 進学・就職しやすくなる
  13. その他 ( )
- (35) 現在の生活に全体としてどの程度満足していますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. 満足
  2. まあ満足
  3. どちらでもない
  4. やや不満
  5. 不満
- (36) 現在、あなたは幸福だと思いますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. はい
  2. まあまあ思う
  3. どちらでもない
  4. 思わない
- (37) 「いきいきと生きているな」と感じるがありますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。
1. ある
  2. ときどきある
  3. ない

これで質問は終わりです。ありがとうございました。





## 令和 2(2020)年度県民のスポーツ実態に関するアンケート調査

( 高校 2 年生用 )

### <調査へのお願い>

大分県では、県民のみなさんが、自分のレベルにあわせてスポーツに親しみ、かかわりあい、楽しめる環境づくりなどを計画的に進めるため、平成 21 年度に「大分県スポーツ推進計画」を策定しました。

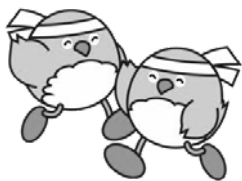
本年度が策定後、約 10 年となることから、計画に掲げる各種施策を検証するとともに、今後の取組に反映するため、現在県民のみなさんがスポーツに対してどのような意識を持っているのか、また、日頃どのようなスポーツを行っているのかなど、子どもから大人までの 6,000 人の皆さんを対象にアンケート調査を行うことになりました。

答えてもらったアンケートの集計と分析は、専門の機関が行いますので、答えた人がわかったりすることは絶対にありません。

これからの大分県のスポーツが良くなることを目的としたアンケートです。日頃感じていること、考えていることを答えてください。

### <アンケートに答えるときのお願い>

- アンケートは、あなた自身が答えてください。
- アンケートは、あてはまる番号を○で囲んでもらう質問が多いです。しかし、「あてはまるものすべてを選ぶ」ようになっている場合もあります。そのときはあてはまるものすべてに○を付けてください（質問をよく読んでください）。
- 質問には、直接書いてもらうものもあります。そのときは（ ）内に書いてください。
- 答え終わったアンケートは、6月19日（金）までに学校の先生に提出してください。
- どうしてもわからない（わかりにくい）質問があったときは、学校の先生にたずねるか、下の電話番号に問い合わせてください。



### <調査についてのお問い合わせ>

大分県教育庁体育保健課生涯スポーツ班（担当：笠木敏行）  
住所 〒870-8503 大分市府内町3-10-1  
電話：097-506-5645









(23) あなたは、学校の勉強が好きですか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. とても好きである 2. まあ好きである 3. あまり好きではない 4. まったく好きではない

#### **IV あなたのスポーツに対する関心度についてお聞きします**

(24) あなたは、この1年間に大分県内で活動しているスポーツチーム（大分トリニータ、バサジィ大分、大分三好ヴァイセアドラー）の試合を会場で観戦しましたか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 観戦した 2. 観戦していない

**質問(24)で1の「観戦した」を選んだ人だけ答えてください。**

(25) あなたが観戦した試合をすべて選び番号を○で囲んでください。

1. 大分トリニータの試合 2. バサジィ大分の試合 3. 大分三好ヴァイセアドラーの試合

**【ここからは全員答えてください】**

(26) あなたは、大分県内で活動しているスポーツチーム（大分トリニータ、バサジィ大分、大分三好ヴァイセアドラー）に対する応援の気持ちはどの程度ですか。あてはまるものを一つ選び、番号を○で囲んでください。

1. 熱心に応援している 2. まあまあ応援している 3. あまり関心がない 4. まったく関心がない

(27) あなたが、応援しているチームをすべて選び番号を○で囲んでください。

1. 大分トリニータの試合 2. バサジィ大分の試合 3. 大分三好ヴァイセアドラーの試合

(28) あなたは、この1年間に障がい者のスポーツ大会（競技）を会場で観戦しましたか。あてはまるものを二つ選び番号を○で囲んでください。

1. 観戦した 2. 観戦していない

(29) あなたは、子どもから大人までがいっしょにスポーツができ、好きなスポーツを何種目も自由に楽しくできるスポーツクラブがあったら入ってみたいですか。あなたの気持ちとして、あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 身近にそういったクラブがあればぜひ入りたい  
2. 身近にそういったクラブができ、良さそうであれば入りたい  
3. たぶん入らないと思う  
4. わからない  
5. その他 ( )

(30) あなたは、「総合型地域スポーツクラブ」を知っていますか。あてはまるものを一つ選び番号を○で囲んでください。

1. 知っている  
2. 聞いたことはある  
3. 知らない







「県民のスポーツに関する実態調査報告書」

発 行 令和 2（2020）年 8 月

編集・発行 大分県教育庁体育保健課

〒870-8503

大分県大分市府内町 3-10-1

TEL:097-506-5645 FAX : 097-506-1866

調査・分析 九州地区地域スポーツ研究会

印刷・製本 小野高速印刷株式会社

